

ロシュグループ行動規範



ロシュグループ行動規範



業務上の行動

社員各位

ロシュは、いまだ満たされていない医療ニーズに対し、質の高い革新的なヘルスケアソリューションの開発、製造および販売を行うリーダーとして認められている企業です。私たちの目標設定は患者さんを何よりも重視しています。さらに、ロシュの価値観（「誠実、勇気、情熱」）は決定を下す際と行動を起こす際のガイドとなります。私たちは、持続可能な開発への取り組みを重視しながら、責任感と倫理観をもって業務を行っています。私たちは、個人、社会および環境により影響をもたらします。

メディカルサイエンスによって、私たちは疾患の診断と治療においてめざましい進展を遂げています。ヘルスケアにおけるデジタル革命は、患者さんから有用性のあるデータ収集の新しい方法を提供します。この新しい環境において、ロシュの誰もが、責任を持ってデータと情報を適切に管理し、保護することがより一層重要になります。ロシュのデータと情報は、検索可能で、アクセス可能でかつ、共有可能である一方で適切な注意、安全保護、および機密保持をもって処理される必要があります。ロシュの利益を守るだけでなく、患者さんと利害関係者の利益を守ることも必要です。

ロシュへの高い評価は、最も価値ある資産のひとつです。ロシュ関係者は、私たちが正しく行動することを期待しています。社員一人ひとりがロシュへの評価をさらに高め、維持することに責任を負っています。ロシュは、自由に意見を交わすことを奨励し、お互いを信頼する社風を作ることに尽力しています。自由な仕事環境が私たちの成功には不可欠です。誰もが自由に意見を言えると感じられる、エンパワメントとコンプライアンスマインドを重んじる社風を促すことにより、ロシュは魅力的な職場を作ります。

ロシュは、誠実さこそ、ロシュの持続可能で成功した事業の基礎であると考え、これを維持していきます。「ロシュグループ行動規範」では、雇用主としてのロシュが社員の皆様に期待することを明確に示し、実践的なアドバイスや実例、また役立つ情報を提供しています。また、この行動規範は、社会に有益で持続可能な影響をもたらすことへのロシュのコミットメントの証です。

Roche Holding Ltd.の企業経営委員会と取締役会は、この更新された「ロシュグループ行動規範」を正式に承認しました。

皆さんが日常業務に「ロシュグループ行動規範」を取り入れ、ロシュのアンバサダーとして行動することを期待しています。皆さんのご協力と支援に感謝しております。



セヴリン・シュヴァン
取締役会長

目次

イントロダクション

- 9 ロシュグループ行動規範
- 10 ロシュの枠組み
- 11 ロシュのPurpose Statement
- 12 ロシュの持続可能なアプローチ
- 13 一人ひとりに適したヘルスケア (Personalised Healthcare)

責任ある事業

- 15 ヘルスケアへのアクセス
- 16 患者団体と患者さん
- 17 政府機関と政府官僚
- 18 ビジネスパートナー
- 19 投資家
- 20 人権
- 21 慈善活動

ロシュの製品とサービス

- 23 イノベーション、製品の管理、生物多様性
- 24 品質基準とグッドプラクティス
- 25 情報と販売

企業資産

- 27 知的財産権
- 28 非公開情報
- 29 ソーシャルメディアと電子コミュニケーションツール
- 30 記録および情報の管理

企業としての誠実さ

- 33 ビジネスにおける誠実さ
- 34 贈収賄と不適切な利益供与
- 35 競争法
- 36 正確な報告と会計
- 37 税金
- 38 関税、貿易、輸出入管理
- 39 データプライバシー

個人としての誠実さ

- 41 利益相反
- 42 贈り物と接待
- 43 インサイダー情報と取引

雇用

- 45 ロシュの雇用基準
- 46 差別とハラスメント
- 47 安全、健康、環境

包括的なコンプライアンス管理

- 49 コンプライアンスの責任
- 50 ヘルプ&アドバイス
- 51 通報 (Speak up)
- 52 コンプライアンスオフィサー
- 53 コンプライアンス違反への対応

連絡先と参照先

- 55 連絡先と参照先



イントロダクション

ロシュグループ行動規範

ロシュの行動の基盤となるもの—いつでも、どこにいても

ロシュの会社としての評判は、業務における誠実さで決まります。

利害関係者との関わりにおいて、私たちは常に正しい行動が求められています。

ロシュグループ行動規範には、ロシュのPurpose Statementが記載されるとともに、雇用主としてロシュが社員に求める内容が定められています。ロシュのすべての関連企業は、それぞれの国においてロシュグループ行動規範を遵守するために必要な方策を導入する義務があります。

全社員とロシュの代理として行動する人はすべて、仕事場所や内容に関わらず、ロシュグループ行動規範に従い、判断を下す必要があります。OneRoche Approachという原則に基づいて、グループ業務部門、医薬品部門、診断薬部門はすべて、制定された基準に従います。

ロシュグループ行動規範は、私たちの業務行動を決定し、実用的なアドバイスや具体例、参考資料を掲載することで、さらに役立つ情報を提供しています。またコンプライアンスに関する追加資料やツールは、ロシュの包括的なコンプライアンス管理システム(cCMS)にとって不可欠です。しかし、これらの資料などは、正しい判断力と常識に基づいた行動をとるといふ個々人の責任にとって代わるものではありません。

特定の質問に対する明確な回答が見つからない場合は、常にロシュのPurpose Statementと価値観に立ち返って、ロシュグループ行動規範を解釈してください。

ロシュグループ行動規範の主要なメッセージを説明するために、eラーニングプログラムなどの使いやすいトレーニングツール (Roche Behaviour in Business (RoBiB) など) が開発されています。

ロシュグループ行動規範を遵守することは社員の就業条件です。各社員が、この行動規範を読み、遵守することが求められます。正しい行動について疑問がある場合は、支援とアドバイスを求める必要があります。

ロシュは、ロシュグループ行動規範の違反を許さず、コンプライアンス違反は適切に対処します。違反した場合、会社と社員本人に深刻な影響がもたらされることを忘れないでください。

Q&A

Q ロシュグループ行動規範は、ロシュグループの全員に適用されますか？

A はい。全社員とロシュの代理として行動する人はすべて、仕事場所や内容に関わらず、ロシュグループ行動規範に従う必要があります。

Q RoBiB eラーニングプログラムを履修するように要請されました。しかし、他の緊急業務のために、eラーニングプログラムを終了するための時間がありません。優先順序を決め、eラーニングプログラムを終了しないことに決めました。この決断は正しいですか？

A いいえ。RoBiBなどのeラーニングプログラムは、ロシュグループ行動規範の遵守をサポートするよう作成されているため、きちんと終了することはあなたのためになります。

私たち全員に、次のことが求められています

- 誠実に行動し、ロシュの高い評価を保つよう努力すること。
- 疑問がある場合は支援およびアドバイスを求めること。
- ロシュグループ行動規範の違反は許されず、会社と社員本人の両者にとって重大な結果を招くことになり得ることを覚えておくこと。

ロシュの枠組み

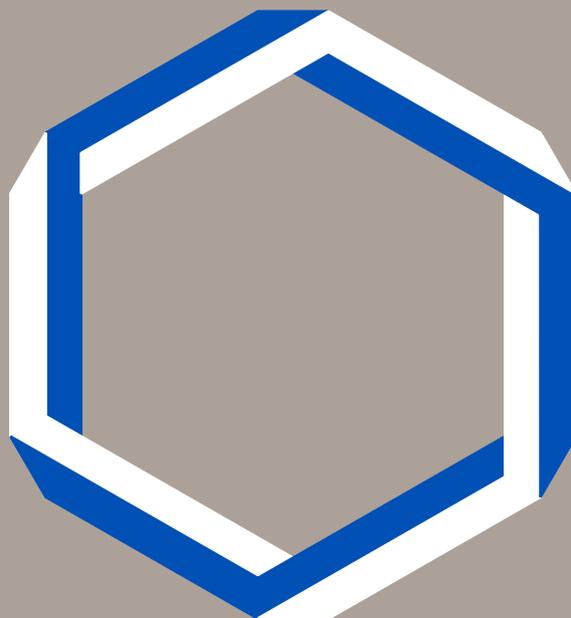
私たちは、患者さんが長生きしよりよい生活を送るため、そして医療活動の変革を推進するための医薬品と診断法を見つけることに焦点を合わせています

What we do

Our Focus
患者さんに最適な治療

Our Distinctiveness
卓越したサイエンス

Our Delivery
すべての利害関係者への価値提供



How we do it

Our Leadership
重要な結果を引き出す

Our Ways of Working
アジャイルでネットワークを活かす

Our Set-up
イノベーションのための組織

ロシュのPurpose Statement

私たちの使命と目指すもの、そして取り組み方を伝えます

Doing now what patients need next

私たちは、未来のイノベーションを目指しています。同時に、今すぐ新たな治療法を患者さんに提供することが急務であると信じています。私たちは、患者さんの生活を変えたいのです。私たちは、勇気をもって決断し、行動します。そして、正しい事業活動は、よりよい社会を築くと確信しています。

私たちが日々働いている理由はそこにあります。科学的厳密性、揺るぎない倫理観、そして画期的な医療を誰もが利用できるものにすることにこだわっていきます。よりよい明日をつくるために、今日やるべきことがあるのです。

私たちは、自らと自らの行動に誇りをもっています。私たちは、様々な部門、会社、国境を越え、世界で一体となって仕事をしている大勢の仲間なのです。

それが私たち、ロシュです。

ロシュの持続可能なアプローチ

ロシュの社会的影響

1896年の設立以来、ロシュは、国内で、そして世界的に数多くの持続可能な業績を達成してきました。持続可能性へのロシュのアプローチとは、患者さん、人々、パートナー、そして地球に対して総合的に取り組むことです。

ロシュ創業者の長期的展望や現在でも過半数の株式を所有している創業家の支援により、ロシュがこのビジョンに忠実であることが可能になり、世界中で数百万という患者さんの生活に変化をもたらす医療を実現しています。ロシュによる社会への最大の影響は新しい医薬品、診断法、そして個人に合わせたヘルスケアソリューションの研究と開発です。ロシュは、この分野において成功しています。30を超えるロシュの医薬品が世界保健機関 (WHO) によって Essential Medicine (不可欠な医薬品) に指定されています。

ロシュは利害関係者への価値を生み出しながら、倫理的かつ責任ある方法によって事業を運営しています。持続可能性はロシュの事業にとって重要であり、事業戦略の基盤となるものです。グローバルなヘルスケア企業として、ロシュは、その事業戦略と一致する、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を支持し、中でもすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進することを目指すSDG 3を強く支持しています。

ロシュの長期的展望への思いは、「5カ年企業目標」にも盛り込まれています。「5カ年企業目標」は、賞与に関連する基準としても利用され、その進展は毎年モニタリングされています。ロシュの報告は、総合的な重要経営プロセスによる評価と、社会によい影響をもたらす関連トピックにフォーカスしています。ロシュは、Global Reporting Initiative (GRI) が定める基準を適用することなど、財務に関連しない報告にも力を入れています。

持続可能な価値と成長をもたらす能力を高めるために、ロシュの利害関係者との開かれた建設的な話し合いは不可欠です。ロシュの持続可能性委員会は、持続可能性をテーマとする数々のポジションペーパーを作成し、各ポジションペーパーで特定の期待と利害関係者の懸念事項を取り扱っています。これらのポジションペーパーは一貫性のあるコミュニケーションのために使用することができます。

またロシュは、様々な情報チャンネルを活用して利害関係者に、持続可能性をテーマとする情報を提供します。例えば、建物のライフサイクル全体を含む持続可能な建設などがこれにあたり、ここには、サーキュラーエコノミー (循環型経済) とエネルギー効率へのソリューション、さらには社員の生産性向上も含まれます。

Q&A

Q ロシュの持続可能性への理解を短くまとめてください。

A 現在と将来における生活の改善を通してロシュの利害関係者に価値を生み出すことです。

Q 持続可能性へのロシュのアプローチはどのようなものですか？

A 持続可能性へのロシュのアプローチとは、患者さん、人々、パートナー、そして地球に対して総合的に取り組むことです。

Q ロシュで持続可能性はどのように管理されますか？

A 持続可能性を担当する部門はありません。その代わり全社員が、業務に持続可能性を組み込むよう奨励されています。これをサポートするため、ロシュの企業持続可能性委員会 (CSC) がグループの持続可能性戦略およびガイドラインを作成し、関連する活動と進捗状況を報告します。また、重要な社会的、環境的および倫理的トピックを評価し、優先順位を付けます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 日常業務において、持続可能性に対するロシュのコミットメントを実践すること。
- ロシュの持続可能性のアンバサダーとして行動すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。ロシュ製品の社会への持続可能な影響についての詳細に関心がある場合、冊子『Lifesavers for Millions』を強く推奨します。ロシュのグループコミュニケーションに注文することができます。

一人ひとりに適したヘルスケア (Personalised Healthcare)

患者さんへの適切な治療

医学的知識、テクノロジー、データサイエンスを一点に集めることは患者さんのケアに変革をもたらします。ロシュは世界中のパートナーとともに次世代のヘルスケアの先頭に立っています。ロシュは、ヒト生物学の独自の理解と健康データを解析する新たな方法を融合させています。ロシュのビジョンは、疾患のスクリーニング、診断、治療、および予防によって世界中の人々の生活をより早く、効果的に変革し、適切な時に適切な治療を適切な患者さんに届けられるようにすることです。

メディカルサイエンスによって、ロシュは疾患の診断と治療においてめざましい進展を遂げています。しかし、ヒト生物学は驚くほど複雑です。それぞれの人が多くの面で異なるように、疾患も異なります。それでも、ヘルスケアにおけるデジタル革命は、患者さんから高品質のデータを収集し、解析のために他の多数の患者さんから得たデータと結びつけるための新しい方法を提供しています。これによって、個々の患者さんを治療する際の深い理解が得られるようになり、私たちそれぞれを区別するものがわかり、一人ひとりに適した治療、つまりは改善された治療につなげることができます。

ロシュは、責任を持って信頼できる方法で人工知能 (AI) およびリアルワールドデータ (RWD) を利用することを重視しています。RWDとは、特化した研究環境における従来の臨床試験によって収集されるデータではなく、通常の医療を通して収集された患者さんの健康関連データを指します。RWDは、実環境において、承認されている診断システムと医薬品がどのように患者さんの転帰に影響するかについて洞察をもたらす、豊だがまだ十分活用されていない情報源となる可能性があります。ロシュは、データが目的にみあって高品質であること、また解析が科学的に徹底した試験デザインと解析方法によってなされたことを条件として、RWDを科学的情報とエビデンスに対する信頼のおける情報源とみなしています。

ロシュは、個人のプライバシー権を保護するために、匿名化や仮名化、またはプライバシーに関する法令における他の同等のコンセプトによって適切な措置を講じています。ロシュにサービスを提供する業者や提携パートナーにも同じことが求められます。

Q&A

Q 一人ひとりに適したヘルスケア (Personalised Healthcare) とは何ですか？

A 一人ひとりに適したヘルスケア (Personalised Healthcare) とは、適切な患者さんに対する適切な治療を意味します。

Q リアルワールドデータに対するロシュの方針に関心があります。ロシュの方針についての情報はどこで入手できますか？

A 「リアルワールドデータへのアクセスおよび使用に関するロシュのポジションペーパー」から入手できます。

Q ロシュは、患者さんのプライバシーが十分に保護されていることをどのように徹底していますか？

A ロシュでは十分なガバナンスと複数の保護措置を実施しています（「データプライバシー」の章をご覧ください）。

私たち全員に、次のことが求められています

- 一人ひとりに適したヘルスケア (Personalised Healthcare) を理解し、サポートすること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。



責任ある事業

ヘルスケアへのアクセス

持続可能なヘルスケアに対するロシュのコミットメント

重大な疾患の診断や治療における大きな躍進とヘルスケア提供の改善により、人々の健康状態や平均余命は確実に向上しています。すべての人が医療の革新により質の高い医療を利用できるようにすることは、いまだ世界的な課題であり、倫理的問題とされています。ロシュは、ロシュ製品を必要としているすべての人がロシュ製品にアクセスでき、製品から恩恵を受けられることを目指しています。

こうした医療への世界的な障壁に対し、公平で持続可能な解決策を見つけるためには、様々な利害関係者が継続的にその責任を自覚し共に行動しなければなりません。そして公的機関、非政府の関係者、地域社会、医療業界といったすべてのプレイヤーが共に緊密に協力することが必要です。

グローバルヘルスケア企業であるロシュは、障壁を乗り越えて医療の提供を改善するという課題に取り組む責任を自覚しています。私たちは、地域医療のニーズに合わせた、持続可能で包括的な解決策を追求しています。新しい医薬品や診断法のイノベーターとして貢献するだけでなく、疾患の認識、診断、治療、および資金提供という、効果的で質の高い医療へのアクセスを向上する重要な要素に焦点を合わせたり、疾患の予防と早期発見、およびモニタリングにも力を入れています。私たちは、ロシュの革新的な製品とサービスへの患者さんによる広範にわたり迅速で持続可能なアクセスを可能にするグローバルアクセスビジョンを実現するために、これを行います。

概してロシュでは医療制度におけるサポートの改善は、製品の寄付よりも大きな影響を持つと考えています。したがって、医薬品と診断薬の寄付は、ロシュの革新的な製品とサービスへの持続可能なアクセスを世界的に増加させるための方針または実行の主要な要素ではありません。

すべてのアクセスプログラムは、適用されるすべての法令や規制、また業界規約に準拠していることが必要とされ、取引先や利害関係者との相互関係における医薬品安全性監視、価格決定方針、患者さんのデータ保護、独占禁止要件、インテグリティ基準などが含まれますがこれに限られません。

Q&A

Q ヘルスケアへのアクセスとはどのような意味ですか？

A ロシュは、ロシュ製品を必要としているすべての人がロシュ製品にアクセスでき、製品から恩恵を受けられることを目指しています。したがって、ロシュは、収入レベルや疾患の傾向と疾患の原因、行政の医療と医療インフラへの取り組みを考慮して、現地の医療ニーズに合う持続可能で包括的なソリューションを追及しています。

Q 無償の製品提供の要請を受けた場合、どうしたらよいですか？

A 医薬品や診断薬の寄付を求める組織からの要請は、緊急に基づいてのみ例外的に判断されます。このような要請は担当部門を照会してください。

私たち全員に、次のことが求められています

- すべてのアクセスプログラムが、適用される法令や規制、業界規約に準拠していることを確認する。
- ロシュ製品とサービスへのアクセスを可能とするために、様々な利害関係者と透明性と責任ある方法で協力すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

患者団体と患者さん

患者団体および患者さんとの協力の決め手は、誠実さと透明性です

ロシュの医薬品と診断薬のライフサイクル全般において、患者団体および患者さんとの協力はロシュの目的を果たすためには欠かせません。

患者団体および患者さんとの持続的なパートナーシップは、医薬品開発から規制当局の承認、アクセス、医療政策までの治療分野でのロシュの業務に影響を及ぼす貴重な観点、知識、および経験をもたらす効率的な方法です。ロシュは、RWD (FMI、Flatironなど)、医薬品へのアクセス、疾患啓発、そして臨床試験のデザインなど様々なプロジェクトで患者団体および患者さんと協力しています。

政府や業界団体 (EFPIAやMedTech Europe、AdvaMedなど)、一般市民、報道機関など、様々な利害関係者が、患者団体に対する業界の対応に誠実さと透明性を求め、業界による経済的、物資的なサポート内容の開示を要請しています。ロシュはその年に扱った世界各国の全患者団体名と、これらの団体に提供したサポート内容を、様々な方法で開示しています。

ロシュは患者団体および患者さんと協力し、常に高い水準で行動を取っています。患者団体および患者さんとの協力は、誠実さ、独立性、敬意、公平性、透明性、および相互利益といった共通価値すべてに基づいています。

Q&A

Q ロシュのマーケティング部門に所属しています。売上を増やすために、私の担当製品へ、患者団体から公にサポートを得る対価として、患者団体に寄付をするつもりです。これは適切な行動ですか？

A 適切な行動ではありません。患者団体の独立性を尊重することが重要です。患者団体をマーケティングツールとして利用することは許されません。

Q 特定のプロジェクトで患者団体と協力しており、時々、患者さんの個人データが私に共有されます。どうすべきですか？

A 特定のプロジェクトに関連する個人データが十分保護されるように徹底させることがあなたの責任です。

私たち全員に、次のことが求められています

- 患者団体および患者さんは重要な利害関係者として尊重すること。
- 患者団体および患者さんとの協力は、誠実さ、独立性、敬意、公平さ、透明性、および相互の利益といった基準に基づくものとする。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「患者団体および患者さんとの協力に関するロシュ指令」をご覧ください。

政府機関と政府官僚

私たちは、政府官僚を重要な利害関係者として尊重します

政府機関と公務員は、経済的安定のために必要な条件や制度の設立や維持、社会的な結束、環境保護、また市民へのヘルスケア情報の提供など、社会的に重要な役割を果たしています。ロシュは公共民間パートナーシップに参加し、それによりインフラに投資し、医療へのアクセスを提供し、持続可能な医療制度の開発を強化しています。

公共政策の関係者と積極的に、かつ責任ある関わりを持つことは良いガバナンスの基礎になると理解しています。ロシュは、医療業界とその規制の枠組みの進展に影響する問題を強調し、また対処するために、政府官僚に情報を提供し、政府官僚と密接に協力することを目指しています。

ロシュは、患者さんがより長生きし、よりよい生活を送る事に役立つとともに、医療活動を変革させる新しい医薬品と診断法の発見に注力しています。公共の議論に情報を提供するために、関連データと見識、およびロシュの視点を共有することはロシュの責任であると考えています。

ロシュは、何を何のために、どう行うか、そしてロシュの社会的影響を説明し、ロシュの事業に対する利害関係者の理解を高めることを目指しています。ロシュは、この責任ある建設的なロビー活動は、当事者すべて、または社会全体に利益をもたらすものと考えています。

ロシュは、関連性があり、理解しやすく、確実に正しい情報を提供することにより、政府官僚との建設的で透明性のある責任を持った対話に参加するよう努力します。

ロシュは、一切の政治的関係を持たず独立性を維持します。適切な場合、ロシュは団体や政治組織への寄付金を公に開示し、公共機関への透明性登録に署名しています。

Q&A

Q 責任あるロビー活動の価値とは何ですか？

A ロビー活動では、政治的意思決定者の行動が、主要利害関係者にどのように受け取られているかをより良く伝えることができます。企業や産業団体が定期的にロビー活動を行うのはこのためです。ロシュは、オープンで正当、かつ責任ある方法で政治議論に参加することを重要と考えています。

Q ロシュの元社員が、地方議員に立候補しており、個人的な献金で彼の選挙活動を支持するように頼まれました。このようなことをしてもよいですか？

A ロシュは、ロシュと関係付けられないことを条件とし、社員が政治活動または慈善活動を支持する権利を尊重します。したがって、元社員の選挙活動を個人的に支持することはあなたの自由です。

私たち全員に、次のことが求められています

- 政府機関と政府官僚には、積極的に正しく、透明性があり責任ある方法で関与すること。
- すべてのやり取りに、ロシュのビジネスにおけるインテグリティ基準を適用させること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「政府官僚との関係に関するロシュのグッドプラクティスガイドライン」をご覧ください。

ビジネスパートナー

ビジネスパートナーに対し、高水準のパフォーマンスと誠実さを求めます

ロシュのビジネスパートナーは、ロシュの持続可能な成長と成功を可能にするために、重要な役割を果たします。

ロシュでは、ビジネスパートナーとのすべての取引は、持続可能であること、誠実であること、要請した製品とサービスが高品質であること、可用性があること、競争力のある価格であること、最適であること、および革新的であることを基本としています。ロシュは、サプライヤー、コンサルタント、卸売事業者、アドバイザー、エージェン特などのビジネスパートナーに対する適切な報酬についての方針を定めています。

ロシュでは、ビジネスパートナーに対しても、関連する法令、規則および契約条件を守り、人権、安全と環境の保護、児童労働、強制労働、腐敗禁止などの社会的責任について一般的に受け入れられている基準を守ることを要求しています。ロシュは、ビジネスパートナーがロシュのデータや情報（特に営業秘密）の機密性に配慮すること、および機密性の保持のために適切な措置を講じ、開示と不適切な取り扱いから保護することを要求します。

ロシュは、責任あるサプライチェーン管理についての業界の方針を支持し、「ロシュサプライヤー行動規範」においてその要求を定めています。

取引を開始する前に、ロシュではビジネスパートナー候補に対してリスクに関するデュー・ディリジェンスを実施し、誠実性、品質、適合性、信頼性および持続可能性へのコミットメントについて社内で評価をします。契約書に署名し、誠実さやその他業務についてロシュから十分な指示が出された後は、ビジネスパートナーのデュー・ディリジェンスはその遵守を確認するためのモニタリングフェーズとなります。

ビジネスパートナーがロシュグループ行動規範について支援やアドバイスを求める場合、またはロシュと取引をするにあたってコンプライアンス違反を報告する場合は、直接ロシュのチーフコンプライアンスオフィサーに報告してください。

ビジネスパートナーが、適用される法令、規則、契約条件や一般的に受け入れられている社会責任基準に従わない場合、ロシュは適切な是正対策を求め、必要な場合はロシュの要求を満たさないビジネスパートナーとの取引を打ち切ります。

Q&A

Q 私は、コンサルタントと協力して働いています。このコンサルタントが、適正な市場価格よりも明らかに高い報酬を求めてきました。どうしたらよいでしょうか？

A ロシュでは、Roche Directive on Integrity in Business (ロシュ指令「業務上の行動-誠実なビジネスを行うための指針」)でビジネスパートナーの報酬についての方針を定めています。すなわち、ビジネスパートナーの報酬は、提供されたサービスに見合ったものであることが必要です。そうでなければ、コンサルタントの要請を受け入れないでください。ラインマネージャーとローカルコンプライアンスオフィサーに直ちに通報し、購買部門に連絡して適切な解決策について話し合ってください。

Q ビジネスパートナーがロシュの誠実さに対する要求を確実に実践するようするには、どうしたらよいでしょうか？

A ロシュでは、取引を行う前に、リスクに関するデュー・ディリジェンスを実施し、契約において必要な事項を定め、継続的にモニタリングし、必要に応じてさらに十分な手段を講じます。

私たち全員に、次のことが求められています

- すべてのビジネスパートナーとのやり取りにおいて誠実さを保つこと。
- 業務上の取引を開始する前および取引開始後も、ビジネスパートナーの誠実性、品質、適合性、信頼性、および持続可能性を継続的に確認すること。
- ビジネスパートナーのコンプライアンス違反が発覚した場合は、適切な是正策を求めること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「第三者の費用に関するロシュの方針」および「ロシュサプライヤー行動規範」をご覧ください。

投資家

私たちは、透明性のある方法で投資家と話し合います

投資家は、ロシュが投資に対して十分かつ持続可能な収益をもたらすこと、評価を維持すること、環境、社会、ガバナンス上の様々な点を含め包括的なリスク評価を実施すること、および社会により影響をもたらすことに関心があります。

ロシュは、透明性がありタイムリーで一貫した方法で投資家と対話し、関与することに尽力しています。ロシュは、株主総会、説明会、投資家向けの最新情報、ロシュのグローバルウェブサイトなどの統合された情報の伝達と報告のために役立つツールとプラットフォームを提供します。

さらにロシュは、株式価格に関する情報を関連当局と市場に通知します。

株主グループと密接な関係を持ち、多くの議決権を持つ創設者の家族によって所有される株式を含む、ロシュの安定した株主構成は、ロシュが事業に対して長期的な視点を持ち、それを実行することを可能にしています。

ロシュは、その事業戦略と業績を業界および企業のベストプラクティスと比較することに取り組んでいます。またロシュは、世界的に認識されている比較調査、ダウジョーンズ・サステナビリティ指標 (DJSI) などに参加しています。

報道陣との接触は広報の専門部署が管理し、投資家との接触は投資家担当チームが担当しています。ロシュの社員は、報道陣と投資家からのすべての問い合わせをこれらの部署に引き渡す必要があります。

Q&A

Q ロシュが投資家と透明性をもってやり取りを行い、関与することが重要な理由を教えてください。

A 多くの点でこれは法的に義務付けられていることに加えて、投資家と信頼のおける長期的関係を維持することはロシュの利益となります。

Q ロシュが、世界的に認識されるピアレビューの調査に参加するのはなぜですか？

A ロシュは、慎重に選択した調査に参加していますが、これはロシュの事業戦略と業績を業界および企業のベストプラクティスと比較するためです。さらに、この結果は、ロシュ社員の取り組みを向上させるだけでなく、新たな社員や投資家を惹きつけます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 投資家または金融アナリストからの問い合わせはすべて、投資家担当チームに引き渡すこと。
- 私たちの行動を業界の慣習やベストプラクティスと比較すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

人権

ロシュは事業のあらゆる点で人権に配慮しています

1896年の設立以来、ロシュは多国籍企業として、その運営において、またロシュのバリューチェーンとビジネスに関連する活動において、様々な方法で人権の促進に貢献してきました。この貴重な社会への貢献は、多くの利害関係者によって認識されています。ロシュは、その活動をモニタリングおよび評価をして、証拠を提供し、積極的に利害関係者と関わります。

「保護、尊重、および救済」を3つの主要項目とする「Ruggie Framework」(ラギー・フレームワーク)は、「ビジネスと人権に関する国連指導原則」(UNGPs)が採択された2011年の国連人権理事会によって承認されました。これは、政府、企業、社会から幅広く支持されています。その結果、各国は、国レベルでUNGPsを導入するための国家アクションプランを発行しています。

ロシュは、UNGPsを承認し、支持および尊重しています。ロシュは、国連グローバル・コンパクトの10原則、世界人権宣言、国際労働機関が定める「労働における基本的原則および権利」の遵守にも取り組んでいます。

ロシュは、リスクの評価、認知度の向上、デュー・ディリジェンスの促進、法的枠組みの強化、集団的行動における協力、オープンな対話、透明性のある報告といった複数の方法によって人権の尊重を既存の経営方法に組み込むことに取り組んでいます。人権侵害に直面した場合、ロシュは適切な救済措置を採用します。

Q&A

Q 正式にはありませんが、サプライヤーの1社が児童労働に対する調査を受けていると聞きました。この噂を無視すべきですか？

A 無視してはいけません。ロシュは、人権を擁護し、適用法および一般的に受け入れられている持続可能性の基準に準拠しない行動を容認しません。直ちにこの情報をラインマネージャーに通報してください。ロシュはこの件を調査し適切な措置を取ります。

Q 人権に関するトピックに関心があります。強制労働や児童労働などについてのロシュの考え方に関する情報はどこで入手できますか？

A 「人権の尊重に関するロシュのポジションペーパー」およびRoche Group Employment Policy (ロシュグループ雇用規程)をご覧ください。

私たち全員に、次のことが求められています

- ロシュの影響が及ぶ分野において人権を擁護し、促進すること。
- 人権が侵害されている疑いがある場合は、通報すること。
- ビジネスパートナーと取引を行う場合、リスクに関するデュー・ディリジェンスを実施すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

慈善活動

持続可能性についての努力の一環として、慈善活動を行います

ロシュは、慈善活動においても豊かな歴史を持っています。

慈善活動と非商業的スポンサーシップに対するロシュの姿勢は、ロシュの持続可能なビジネスモデルと革新的な社風を反映しています。

プロジェクトを評価する際、ロシュではコストよりもインパクトの可能性を重視します。インパクトは、価値と成功の尺度です。慈善寄付と非商業的な支援はすべて、倫理的な方法で行われなければなりません。

例えば、ロシュは、赤十字国際委員会 (ICRC) と100年以上にも及ぶパートナーシップを維持し、世界中のいくつもの国で飲料水や住居に関する活動に貢献しています。

イニシアチブの決定は、「Roche Policy on Philanthropic Donations and non-commercial Sponsorship (慈善寄付と非商業スポンサーシップについてのロシュの規程)」に沿って行われます。この規程は、ロシュによる貢献がロシュの誠実さに関する高い水準に準拠しなければならないことを定めています。慈善寄付と非商業的な支援は、どのような形式によるかを問わず、腐敗と不適切な利益のために使われてはなりません。

ロシュの社員は、恵まれない世界の子供たちを支援する寄付金を募るために毎年開催されているRoche Children's Walk (ロシュチルドレンズウォーク) などに参加することにより慈善活動を支持しています。

ロシュは、社員それぞれが持つヘルスケアに関する知識を用いて非商業的組織を支える、ロシュセカンドメントプログラムを通し、コミュニティ活動に個人的に関わる社員をサポートしています。

Q&A

Q Roche Children's Walk (ロシュチルドレンズウォーク) への参加はどのような効果がありますか？

A Roche Children's Walk (ロシュチルドレンズウォーク) に参加することにより、緊急に資金を必要としている子ども達のために募金を集めることができます。あなたが募金した金額と同額をロシュも寄付し、サポートするプロジェクトに全額投資されます。

Q スポーツクラブからロシュとして金銭の寄付をしてくれないかと依頼されました。どうしたらよいでしょうか？

A 慈善寄付は、ローカルの経営陣によって決定されます。世界的なプロジェクトについては、Corporate Donations and Philanthropy Departmentによって取り扱われます。決定者は特定の要請が、「Roche Policy on Philanthropic Donations and non-commercial Sponsorship (慈善寄付と非商業スポンサーシップについてのロシュの規程)」に定められる原則に沿っているかを評価する必要があります。

私たち全員に、次のことが求められています

- 慈善活動と非商業的寄付の要請は、担当者に引き渡すこと。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「Roche Policy on Philanthropic Donations and non-commercial Sponsorship (慈善寄付と非商業スポンサーシップについてのロシュの規程)」をご覧ください。



ロシュの製品とサービス

イノベーション、製品の管理、生物多様性

私たちは、品質と製品管理の高い水準を満たす革新的な製品とサービスを生み出します

ロシュの製品とサービスは、疾患の予防、診断、および治療に役立ち、人々の健康とクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上につながるものです。

1896年の設立以来、ロシュは、革新的な高品質の製品とサービスを提供する会社として名を馳せてきました。イノベーションと品質はロシュの歴史およびその戦略と社風の基礎を成すものです。優れた製品管理とともに、これらはロシュに競争上の著しい優位性をもたらしています。

イノベーションは、よりよい将来を築くため、また、既存の治療分野における製品とサービスの向上、新たな分野における深刻なアンメットニーズへの対応といった患者さんが次に必要とするものを提供するために欠くことのできない推進力です。ロシュは、研究を基盤とするヘルスケアカンパニーです。そしてこれまでの治療を一新するようなイノベーションをもたらし、治療の水準を高め、人々の生活をさらに向上させることを目指しています。

ロシュの目標の一つは、私たちが行うすべてにおいて高水準の品質を達成することです。品質管理の基本は、製品とビジネスプロセスに継続的な改善をもたらすことです。

製品管理の目的は、製品のライフサイクル全体において、安全、健康および環境への悪影響を最小限にとどめることにより、社会に対するロシュ製品の価値を高めることです。研究、開発、製造、流通を通して製品管理を統合することにより、資材の無駄、水とエネルギーの消費、二酸化炭素の排出などの悪い排出物を体系的に減少させることを目指しています。

その結果、ロシュは、自分たちのためだけでなく利害関係者すべてのために、事業の効率と持続可能性を増強することができます。

ロシュは、生物の多様性に関する条約(CBD)によって広く認識されている資源管理の原則を支持しています。また、CBDおよび名古屋議定書で定められている、遺伝資源の使用から得た利益の、公正で平等な配分の原則を支持しています。

ロシュは、3つのR(Reduce(削減)、Refine(改善)、Replace(置換))の指導原則を適用し、動物を使わない方法の採用に取り組んでいます。ロシュは、動物の使用に影響を及ぼすサイエンスとテクノロジーに大きな投資をすることによって、動物実験に替わるものという最終的な目標の達成に情熱をもって取り組んでいます。

Q&A

Q ロシュの製品とサービスに固有の3つの特徴とは何ですか？

A ロシュの製品とサービスには、イノベーション、高水準の品質、および製品の管理が関わっています。

Q 製品管理(Product stewardship)の意味はどのようなものですか？

A 製品管理の目的は、製品のライフサイクル全体において、安全、健康および環境への悪影響を最小限にとどめることにより、社会に対するロシュ製品の価値を高めることです。

Q 生物多様性と動物実験について関心があります。詳しいガイダンスはどこにありますか？

A 詳細は、「Roche Position Paper on Biodiversity (生物多様性に関するロシュのポジションペーパー)」と「Roche Position Paper on Animal Research (動物実験に関するロシュのポジションペーパー)」に記載されています。

私たち全員に、次のことが求められています

- ロシュの製品とサービスの品質、および製品管理に対する利害関係者の高い期待を完全に満たすこと。
- ビジネスプロセスと製品の継続的な改善を目指すこと。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

品質基準とグッドプラクティス

品質基準とグッドプラクティスの遵守は、ロシュが業務許可を取得・維持するための前提条件です

高い品質水準を保つことは、新製品の承認を得ることから、患者さんや当局からの高い評価を維持することまで、ロシュの事業のために不可欠です。品質は、すべての患者さんの権利であり、全社員の責任でもあります。品質は、コンセプトから継続的改善まで、私たちが行うことすべての基礎となっています。ロシュは法的規制要件のほかに、例えば医薬品臨床試験の実施基準 (GCP) や医薬品製造販売後の安全管理基準 (GVP)、医薬品安全性試験の実施基準 (GLP)、そして医薬品適正製造基準 (GMP) など国際的に認められたグッドプラクティスを遵守し、ロシュの製品とサービスの品質、安全性と効能において関係者からの高い期待に応えます。

ロシュでは、社員が遵守すべき一連の品質基準および手順などの品質システムを設定しています。さらに、社員は、ロシュの基準からの逸脱について、ラインマネージャーまたは品質部門に報告する必要があります。

ロシュはまた、ビジネスパートナーに対しても高い品質基準に沿うことを要求しています。

何よりも重要なことは、患者さんの安全であり、有害事象や製品に関する苦情が寄せられた場合に随時報告することです。ロシュの社員は、業務中または業務外であるかどうかや、その通信チャンネル (例えば対面やソーシャルメディア) にかかわらず、有害事象に気付いた場合は直ちに各国の安全部門に報告すること、またお客様の苦情に気付いた場合は直ちに各国の薬事部門または品質部門に報告するようトレーニングを受けています。

有害事象とは、医薬品を投与した患者さんまたは臨床研究の被験者における有害な医学的事象として定義されるものであり、必ずしもこの治療との因果関係はありません。したがって有害事象は、医薬品に関連するか否かにかかわらず、医薬品の使用に一時的に関連する好ましくない、意図されない症候、症状または疾患と考えることができます。有害事象には、偶発的または意図的な薬物の過剰摂取、死亡、薬物乱用、妊娠、有効性の欠如、または禁断症状が含まれますが、これらに限定されません。

医療機器報告では、製品に関する苦情はすべて報告することが義務付けられています。製品への苦情とは、発売後または臨床試験への提供後に、ロシュ医療機器の特性、品質、耐久性、信頼性、安全性、有効性、もしくは性能に関連した欠陥を主張するお客様あるいはエンドユーザーからの書面もしくは (電子的、または口頭での) 連絡と定義されています。

私たち全員に、次のことが求められています

- 期待される高い品質基準と承認されているグッドプラクティスを遵守すること。
- ロシュの取引先がロシュの高い品質基準を確実に遵守すること。
- ロシュの医薬品に関連した有害事象が認められた場合、各地の安全部門に直ちに報告すること。
- ロシュの医療機器に関するお客様の苦情は、直ちに各地の薬事部門と品質部門に報告すること。

Q&A

Q 私は生産ラインで働いています。一部の製品がロシュの品質基準を満たしていないことに気づきましたが、どうすべきですか？

A ロシュブランドは高品質の製品を象徴するものです。ロシュの品質基準を満たしていない製品に気づいたら、所定のプロセスに従い、必要に応じてあなたのラインマネージャーとロシュの品質部門の専門家に連絡してください。

Q インターネットを見ているときに、ソーシャルメディアで患者さんがロシュのY薬を飲んだ後に目がかすんだと言っている投稿を発見しました。これは報告する必要がありますか？

A あります。このような情報を発見した場合は、各地の安全部門に報告してください。これはロシュに関連のないウェブサイトに乗っている情報も含まれます。少なくとも、「患者、報告者、事象、製品 (PREP)」の4点について報告する必要があります。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

情報と販売

ロシュの革新的な製品とサービスに関する適正な情報を提供します

研究開発を主体とするヘルスケア企業であるロシュは、多くの利益をもたらす革新的な診断法、治療用製品とサービスの開発、製造、販売を行っています。そしてロシュの利害関係者は、その研究開発活動の結果など、ロシュの製品とサービスに関する情報を得る正当な権利を持っています。

ロシュがこうした情報を明瞭かつ正確でタイムリーな方法で提供することで、医療科学分野においてロシュが達成した進歩を基に関係者が利益を得ることができるようになります。ロシュは、適用される法令、規則、業界規約、および販売のためのグッドプラクティスに関連するロシュ社内のプロセスと基準を遵守することに取り組んでいます。ロシュは、責任ある方法で医療従事者の医療教育をサポートします。

ロシュの製品やサービスを最大限に活用するために役立つ科学的な情報交換を行うため、ロシュは医療従事者や医療機関と係わり合いを持ちます。こうした関係は倫理観や誠実さおよびサービスに対する公正な報酬に基づいて行われます。

ロシュは、ジェネリック医薬品やバイオ後続品の製造会社といった、競合他社の合法的な業務を尊重しています。一方で、これらの企業に対しても適用される法令、規制、業界規約の遵守を求めています。ロシュでは、その製品の信用を落とすような虚偽主張を許容せず、不公平な競争に対して製品や利権を守ります。

ロシュは医療従事者や医療機関への寄付に関し、透明性を徹底しています。また公開を要するすべての法令、規制、業界規約（米国サンシャイン法、欧州製薬業団体連合会のコードオブプラクティス、MedTechの倫理的業務慣行に関する欧州規範など）に完全に準拠しています。ロシュは、持続可能性に関する報告の一環として、追加データをグローバルレベルで自主的に公開しています。

Q&A

Q ロシュと医療従事者の関係に、どのような方針が適用されるかを友人に尋ねられました。どのように答えればよいのでしょうか？

A 医療従事者とロシュの関係は、次の2つの主要方針に基づいています。

(i) オープンで率直、またタイムリーに法を遵守した方法で革新的な製品とサービスに関する情報を提供します。

(ii) ロシュ製品の処方への見返り報酬など不適切な利益を提供しません。

Q ロシュの製品について競争相手が誤解を招く主張をしていることに気づきました。どのように対処すべきですか？

A ラインマネージャーに知らせ、ロシュの製品と利益を守るために適切な対処を行えるようにしてください。

Q 競争相手が十分な臨床データがないにもかかわらず、ロシュ製品のバイオ後続品を有していると主張しています。ロシュはこのような行為を認めますか？

A 認めません。競争相手の製品が比較可能な生物学的製剤 (NCB) として認定される場合、ロシュは権利の保護を求めます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 該当する法令、規制、業界規約や確立された社内プロセスや基準を守ること。
- 責任と透明性のある方法で医療教育をサポートすること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「Interactions with HCPs and HCOs (医療従事者および医療機関との関わり合い)」に関するロシュ指令および「Roche Diagnostics Divisional Standard on Interactions with HCPs and HCOs (医療従事者および医療機関との関わり合い)」に関するロシュの診断部門基準をご覧ください。



企業資産

知的財産権

知的財産権は私たちの事業にとって極めて重要です

ロシュでは、患者さんのために、医学とデータサイエンスにおける進展および、革新的な診断法や人生を変えるような治療法に取り込んでいます。革新的なモデルを持つロシュにとって、知的財産権とその効果的な保護は極めて重要です。

知的財産権法は、ロシュの貴重な資産、すなわち特許、商標、薬事データ、著作権、営業機密、ドメイン名、関連した権利などを保護するものです。ロシュは、知的財産権を保護する法的環境を作り出すための取り組みをサポートします。ロシュは、強固な知的財産保護制度を持つ国の政府がその責務を果たすこと、また発展途上国の政府が社会的な利益と成長をもたらすイノベーションに基づく経済へと移行する過程において知的財産の果たす役割を考慮することを奨励しています。ロシュは、国連による定義上の後発発展途上国、または世界銀行による定義上の低所得国において特許を申請したり、既存の特許を強制したりすることはありません。

またロシュは、第三者の知的財産権も尊重しています。ロシュのすべての社員は、日々の業務において第三者の知的財産権を適切に取り扱うよう求められています。

ロシュの知的財産権が侵害された場合、ロシュはその権利を主張します。知的財産権の侵害は、ロシュの資産に悪影響を及ぼすだけでなく、多くの場合、患者さんの健康と安全を脅かす可能性もあるからです。たとえば、偽造医薬品や偽造診断薬、偽造機器は違法であり、世界的に公衆衛生上の大きな問題を引き起こしています。ロシュは、自らが関わることのできる範囲において偽造品に対して適切な対策を講じています。

医薬品の開発がもたらす公衆衛生への恩恵は、特許保護期間を過ぎても継続します。例えば、ロシュが開発した30以上の医薬品が世界保健機関(WHO)によってEssential Medicine(不可欠な医薬品)とされています。命を助ける抗生物質、抗マラリア剤、化学療法用の薬品を含め、ほとんどすべての医薬品の特許保護期間はすでに過ぎています。そしてこれらの医薬品は、革新に向けた投資を促す、揺ぎ無い特許システムなくしては存在し得ませんでした。またこれは、独占期間の終了後もロシュが世界の健康に大きく貢献し続けることを示しています。

Q&A

Q 私が社員として、ロシュのイノベーションに関する知的財産を保護するためにできることはありますか？

A 特許の対象となる発明、またはその他の知的財産権として保護の対象となるイノベーションについて気付いたときは、特許と商標の担当部門または法務部門に連絡してアドバイスを求めてください。科学的な公表は特許部門から承認を得る必要があります。

Q 私が社員として、ロシュの既存の知的財産権を保護するためにできることはありますか？

A ロシュの知的財産権を第三者が侵害していることに気づいた場合、特許部門に連絡してください。

Q 私はマーケティング部門で働いています。科学誌の記事をコピーして、ワークショップの参加者に配布したいと思います。このようなことをしてもよいですか？

A 第三者の著作権はケースバイケースで考慮する必要がある点に留意してください。著作権の条件に疑問がある場合は、ロシュのイントラネットの「Copyright Checkpoint」(著作権チェックポイント)を参照して、疑問を解消してください。

私たち全員に、次のことが求められています

- ロシュの知的財産権を保護すること。
- 第三者の知的財産権を尊重し、疑問がある場合は担当者に相談すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

非公開情報

私たちは非公開情報を慎重に扱い、ロシュの資産と利益を守ります

ロシュの社員として、私たちは業務に関連する非公開情報に様々な方法でアクセスすることがあります。これには、研究開発プロジェクト、製造方法、ビジネスプラン、財務データ、マーケティングと販売の戦略、新製品の発売、合併・買収またはライセンス活動についての機密情報などが含まれます。

非公開情報は、ロシュの最も重要な資産として扱う必要があります。社員は、ロシュにおける雇用期間中に取得した非公開情報を非公開の状態に維持する義務を負っています。社員は、このような非公開情報をロシュの社員以外の誰とも（このような情報を業務上知る必要のない社員も含めて）共有してはなりません。守秘義務は雇用契約の一部であり、退職後も継続します。

非公開情報が第三者と共有された場合、ロシュは、かかる第三者がその情報を保護するために適切な措置をとることを徹底させます。

私たちは、第三者の機密情報を尊重し、これらの情報を保護するために適切な措置を講じます。

競争的な状況においては、第三者がロシュの業務に関する機密情報を入手したがることを忘れてはなりません。第三者による諜報活動は、この業界ではよくあることです。したがって、公共交通機関（飛行機や電車、バスなど）の利用中、レストランやバー、ソーシャルメディアなどの公の場で機密情報を扱う場合には、十分な注意が必要です。

Q&A

Q 私は、最近ロシュの競合会社から転職し、ロシュに役立つと思われる情報をたくさん知っています。このような情報を私のチームと話し合ってもよいですか？

A 機密情報を話し合ってはなりません。退職後も情報の機密保持義務が残ります。退職後も、以前の会社の機密を守ることが必要です。

Q 同僚と一緒に出張中に、機密扱いの現在進行中の治験の結果を話し合います。このようなことをしてもよいですか？

A 第三者による競争上の諜報活動には常に注意してください。公の場やソーシャルメディアなどで機密情報を扱う場合には、十分な注意を払う必要があります。

私たち全員に、次のことが求められています

- 非公開情報の共有は、その情報を入手する必要がある、入手することが許可された人に対してのみとすること。
- 第三者に属する機密情報を尊重すること。
- ロシュの資産や利益に害を与える可能性のある、第三者による諜報活動に注意すること。
- 退職後も、業務上知りえたロシュの機密保持義務を守ること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「提携プログラムからの離職に関する指令」（ファイアーウォール指令）をご覧ください。

ソーシャルメディアと電子コミュニケーションツール

私たちは、ソーシャルメディアと電子コミュニケーションツールを慎重に利用します

「ロシュの電子コミュニケーションツール」とは、スマートフォン、パソコン、タブレット、インフラストラクチャなどのロシュのハードウェア、および電子メール、チャット、ソーシャルメディアを含むコラボレーションソリューションを指します。

業務関連の連絡には、ロシュの電子コミュニケーションツールのみ使用することができます。業務での使用を意図した、または会社データを処理するための新しいテクノロジーサービス、システム、プラットフォーム、第三者が運営するツール、ソフトウェア、電子ツールは、使用する前に、ロシュまたはジェネンティックの情報セキュリティによって評価および承認される必要があります。なお、現地の規制に従い、適用されるロシュの方針と指令を遵守する限り、ロシュの電子コミュニケーションツールの適切な個人使用は一般的に許可されます。

ロシュの電子コミュニケーションツールは十分注意を払って使用しなくてはなりません。万が一、ハードウェアまたはデータが盗難に遭ったり紛失したりした場合（セキュリティ対策の侵害、フィッシング、意図しないデータ共有なども含みます）には、各地のヘルプデスクに直ちに連絡してください。

ロシュの電子コミュニケーションツールの使用においては、プライバシー権は保証されません。システムオペレーション、メンテナンス、完全性およびセキュリティ上の目的、重大な業務継続目的、また調査や訴訟の場合など特定の状況下では、プライバシー権は、適用されるロシュのデータプライバシー原則および基準に従って、剥奪される場合があります。

ソーシャルメディア

ロシュが所有する外部チャンネルは、ロシュのコミュニケーションマネージャーによってのみ作成および管理されます。チャンネルの所有者は、適切なトレーニングを受け、ロシュ・レジストリーにチャンネルを登録し、有害事象や製品への苦情についてチャンネルをモニターします。

社員の個人チャンネルを登録する必要はありませんが、自身のチャンネルにおける行動は会社に反映され、何らかの結果をもたらすことがあります。例えば、製品に関するコミュニケーションは厳しい規制の対象なので、製品に関する投稿は許されません。

Q&A

Q 私はチームで、前職の会社で使用していた最新のコラボレーションツールをダウンロードして使いたいと思っています。使ってもよいでしょうか？

A 使用するツールとアプリケーションがロシュによって承認されていることが重要です。これらのツールは必要な審査を受け、社内で使用をサポートするための適切なライセンスがなくてはなりません。未承認のツールの使用は、会社のデータを危険にさらす可能性があります。

Q 誰かがRWDへのアクセスと使用についてツイートしていることに気づきましたが、このツイートの内容に全く同意できません。「RWDへのアクセスおよびRWDの使用に関するロシュのポジションペーパー」について言及することは許可されますか？

A はい。許可されます。ロシュのポジションペーパーの目的は、事業と利害関係者にとり重要な特定の持続可能性に関するトピックについて、企業の考え方を提供することです。ロシュのポジションペーパーを読み、参照することが強く推奨されます。これらはロシュのインターネットウェブサイトから入手できます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 業務目的には、承認されたロシュの電子コミュニケーションツールのみを使用すること。
- ロシュの電子コミュニケーションツールは慎重に取り扱い、妥当な範囲での個人的使用を除き、主に業務内で使用すること。
- 個人のソーシャルメディアは責任を持って使用すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。電子コミュニケーションツールに関する詳しい情報については、「電子コミュニケーションツールに関するロシュ指令」および「デジタルチャンネルの法令遵守に関するロシュ指令」をご覧ください。

記録および情報の管理

記録は会社の資産として取り扱う必要があります

ロシュの社員が業務の過程で作成する、または受領する記録の大半はロシュの貴重な資産であり、公式記録として保持する必要があります。これは、ロシュの利益を保護したり、規制への義務を全うしたり、潜在的な科学的再利用をしたりするために欠かせません。記録の形式は多様で、データおよび関連するメタデータから構成されている場合があります。記録を紛失や不正使用から保護すること、記録の完全性を維持すること、および業務上の目的のために、また調査が行われる場合に、記録を検索すること、そして記録にアクセスできるようにすることは社員の責任です。

ロシュ企業記録管理プログラム (COREMAP) には、ロシュ全体にわたり記録の保護と識別を改善させるための基準が定められています。

記録の所有者はロシュであり、個人ではありません。記録は、内部および外部の規格や規制を遵守して管理され、定められた期間にわたり保持される必要があります。公式記録およびこれらに義務付けられている管理レベルは、「ロシュグループの記録および情報分類」に記載されており、利便的記録は一時的なものとしての価値はありますが、リスクとコストを回避するために定期的に破棄される必要があります。

ロシュの社員は、記録を作成および管理する場合は、必ず以下の原則に従う必要があります。

- 書き始める前に、記録の作成が必要かどうかを考え、判断すること。
- 事実のみを述べ、推測は記載しないこと、また誤解を生むような言葉遣いを避けること（電子メールやソーシャルメディアへの投稿などで）。
- 記録が適用される法令と規則に沿うようにすること。
- ロシュが責任を取れないであろう文書は作成しないこと。
- 記録の有効期間中、知識の豊富な担当者が常に割り当てられているようにすること。
- 記録に割り当てられた機密性を確保できる方法で共有および保存するなど、機密性のレベルに注意すること。記録へのアクセスが必要でない人（それが特に外部者である場合）には、記録を共有しないこと。

記録保持期間の終了に達した記録は、さらに科学的使用のニーズがある場合を除き、ロシュの記録管理手順および基準に従って廃棄されなければなりません。個人データや機微な個人データを含む記録は、義務付けられた保持期間を超えて保持することはできません。

現在すでに行われている、あるいは近々提起されそうな法的訴訟や公的機関による調査に関連した記録は、保存する義務があります。ロシュの社員は、このような記録を保存義務が解除されるまで破棄せずに保持しなければなりません。

Q&A

Q 業務上、文書を作成するときに、ロシュの注意基準を守ることが重要なのは、なぜですか？

A 文書がロシュに対する訴訟や公的機関による調査で証拠として使用されることがあります。誤解を招くような文書は、ロシュとそれに関わった社員に対する調査につながる可能性があります。

Q 法律で定められた保存期間が過ぎたために破棄できる文書や電子メールを前任者から引き継ぎました。訴訟があり、この文書が使用される可能性があると感じましたが、このような文書を破棄してもよいですか？

A 現在すでにある、あるいは近々提起されそうな訴訟または公的機関による調査に関連した記録は、破棄してはなりません。これらの文書を破棄すると妨害とみなされ、厳罰を受ける場合があります。ですから、関係している可能性のある記録は必ず保存してください。詳しくは、ロシュの法務部門に連絡してください。

私たち全員に、次のことが求められています

- ロシュの記録と情報の管理には十分な注意を払うこと。
- 現在すでにある、あるいは近々提起されそうな訴訟または公的機関による調査に関連した記録は、絶対に破棄しないこと。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシュのグローバル記録管理指令」をご覧ください。



A photograph of two men in conversation. The man on the right is the primary focus, wearing a dark blue polo shirt and a blue lanyard with a logo. He is gesturing with his hands as he speaks. The man on the left is partially visible, wearing a light blue shirt. The background is a blurred outdoor setting with greenery and a blue structure.

企業としての誠実さ

ビジネスにおける誠実さ

ロシュの誠実さは、社員の誠実さで決まります

ロシュの利害関係者は、私たちがすべての業務において誠実であることを期待しています。

ビジネスにおける誠実さとは、ビジネスにおける倫理的な行動と、倫理的な自覚の両方を指します。これはロシュグループ行動規範と、社会的責任を自覚したうえで、事業運営を行うというロシュのコミットメントに沿うものです。

ビジネスにおける誠実さとは、何よりもまず、適用される法令と規制、ロシュが定める誠実さに関する高い基準に従うことを意味します。これらの基準を守ることは正しい行動であり、ロシュが持続可能な成功を遂げるために不可欠です。

時には、誠実なビジネスを行うための高い基準を守ることがビジネス的な損失につながることもあります。しかし、私たちは、この基準を守ることがビジネスにおける優位性をもたらすと確信しています。

ロシュの全社員が誠実な行動を取ることが、ロシュの企業としての誠実さに繋がります。世界的にビジネスを展開するロシュにとっては、たとえ一つの国における不適切な行為であっても、それが世界中のロシュのビジネスに悪影響を及ぼすことになりかねません。

ビジネスにおける適切な行為を定める諸条件は、それぞれの状況を個別に考慮したうえで逐次判断されることが必要です。

ロシュは、ビジネスにおける誠実さを定めた基準を守るため、社員と取引先に対して適切な情報、指示、トレーニング、指針とサポートを提供しています。

Q&A

Q 私は最近、高い販売目標を達成するよう指示されました。このターゲットを達成してボーナスを稼ぐためには、ロシュの誠実なビジネスを行うための基準に違反することが必要です。このようなことをしてもよいですか？

A 許されません。あなたは、常にこの基準を守ることが必要です。ラインマネジャーとオープンに話し合い、ロシュの誠実なビジネスを行うための基準に合ったソリューションを見つけてください。

Q 私のラインマネジャーに、ロシュの誠実なビジネスを行うための基準に反する行為を取るよう指示されました。どのように対処すべきですか？

A あなたの懸念について直ちにラインマネジャーに知らせてください。あなたの業務上の行動に対して最終的な責任を持つのはあなたです。ラインマネジャーが譲らない場合や、黙っているように指示された場合は、ローカルコンプライアンスオフィサーまたはチーフコンプライアンスオフィサーまで直ちに連絡してください。または、ロシュグループ Speak Upラインも使用できます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 該当するすべての法令と、ロシュが定めた誠実さに関する高い基準を守ること。
- 業務上の行動が、ロシュが求め、定めるビジネスにおける誠実さの基準を満たしているかどうか、各事例に合わせて慎重に判断すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、Roche Directive on Integrity in Business (ロシュ指令「業務上の行動-誠実なビジネスを行うための指針」)をご覧ください。

贈収賄と不適切な利益供与

ロシュは、いかなる形態であっても、賄賂や業務上の不正行為を許しません

ロシュは、いかなる形態であっても、賄賂（公務員相手または民間人相手、もしくは、能動的か受動的かに関わらず）、横領、詐欺、窃盗や不適切な利益供与などの業務上の不正行為を禁止しています。Roche Directive on Integrity in Business（ロシュ指令「業務上の行動-誠実なビジネスを行うための指針」）には、これらの内容について詳しいガイダンスが記載されています。

贈収賄

ロシュの社員とその取引先は、見返りとして契約を獲得・維持する目的で不適切な利益供与、または供与の約束、要請、受領をすることは一切禁じられています。これは個人または組織であるか、もしくは、直接的または間接的であるかを問いません。不適切な利益供与には違法なリベート、贈収賄、賄賂報酬、非公式な支払いが含まれます。また価値のあるすべてのもの、例えば支払い、食事、贈答品、接待、交通費や偽の契約が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

不適切な利益供与

特定の取引を念頭に置かない不適切な利益供与の約束、または供与は一切禁じられています。賄賂の定義とは対照的に「見返りを目的とした行為」は存在しません。したがって、不適切な利益供与は、供与者に対する共感を持たせるための「好意としての支払い」と見なされることがあります。

ロシュの社員は、周囲にどのように受け止められるかを常に意識し、本来の意図に関わらず、自らの行動が賄賂または不適切な利益供与とみなされる場合があることを覚えておかなければなりません。

この原則は、ロシュが関係する世界中のすべての公共および民間の取引に適用されます。多くの国では、公務員に対して賄賂や不適切な利益供与をすることは犯罪とされています。これらの法令または不公正な競争行為を禁じるその他の法令に違反した場合、ロシュおよびそれに関与した個人は刑事訴訟および民事訴訟を起こされる可能性があります。

Roche Directive on Integrity in Business（ロシュ指令「業務上の行動-誠実なビジネスを行うための指針」）に定められているすべての条件が満たされ、適用される地域の承認が得られた場合、取引先やその他の第三者に利益供与が許可される場合があります。

Q&A

Q 私は会社の腫瘍学イベントのために、医療従事者と講演依頼の契約を交渉していました。イベント前になって、この医療従事者がイベントに来ることができないと伝えてきましたが、私のラインマネジャーは、この人物はロシュのビジネスにとって重要であるため、イベントで講演ができなくても契約を継続し、支払いをするようにと言いました。どうしたらよいでしょうか？

A すぐにその懸念をあなたのラインマネジャーに知らせ、契約を継続しないことを伝えるべきです。提供されなかったサービスに対して支払うことは、贈賄とみなされる可能性があるためです。ラインマネジャーが譲らない場合や、黙っているように指示された場合は、ローカルコンプライアンスオフィサーまたはチーフコンプライアンスオフィサーまで直ちに連絡してください。また、ロシュグループSpeak Upラインも利用できます。

Q 便宜を図ってもらうために少額の金銭を支払うことは許されますか？

A いいえ、許されません。ロシュグループ行動規範や多くの国の法令で、金額の多寡に関わらず、いづれの形の賄賂も禁止されています。したがって、便宜を図ってもらうための支払いは、許容される利益供与としての要件を満たしていない限り、禁じられます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 不正行為の実行、容認、またはいかなる形態での支持も行わないこと。
- いかなる形態での不適切な利益供与や利益供与の約束、要求、受領を行わないこと。
- 利益供与がロシュの事業における誠実さの基準に沿ったものであるか、慎重に見極めること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、Roche Directive on Integrity in Business（ロシュ指令「業務上の行動-誠実なビジネスを行うための指針」）をご覧ください。

競争法

競争法違反が利益をもたらすことはありません

独占禁止法とも呼ばれる競争法は、公正な競争を保護するための法律です。これは、競争を防止したり、抑制したり、歪曲したりすることを目的とする行為を禁じています（価格協定、市場や顧客の割り当てなど）。

ロシュは、知的財産権や営業販売権の合法的な保護と合わせて、競争を促進・維持するためにあらゆる努力を行います。

ロシュは、包括的な独占禁止法遵守プログラムを用意しています。業務上、競争行為に関わる社員は、競争法の基本概念と法律を遵守することの重要性を理解しなければなりません。特定の独占禁止法に対する回答が不明確な場合は、必ず支援とアドバイスを求めてください。

競争法違反には、重大な罰則が科されます。企業としてのロシュが責任を負うだけでなく、競争法に違反した社員にも罰則が科されます。

入札に関わるロシュの社員は、適用される法令を理解し、遵守しなければなりません。また適用される公式な入札手順に従い、公的機関の意思決定者には、正確かつ明白で偏りの無いデータを提供し、調達的全过程を通じて透明性を維持しなければなりません。

ロシュは、ジェネリック医薬品やバイオ後続品の製造会社といった、競合他社の合法的な業務を尊重しています。一方で、これらの企業に対しても適用される法令、規制、業界規約の遵守を求めています。

ロシュが、適用される競争法を遵守していたとしても、当局による予告なしの調査を受けることがあります（「Dawn Raid」と呼ばれます）。このような調査があった場合、ロシュは調査官に全面的に協力し、書類やデータなどを破棄してはいけません。

Q&A

Q 私はマーケティング部門に所属しています。競合相手が、マーケットシェアを拡大するために大きなリベートを顧客に提供しています。この競合相手に連絡し、販売価格を決めて、一定の顧客と市場を割り当てるようにしてもよいですか？

A いいえ。販売または購入価格を共同で決定し、顧客市場を割り当てることは、重大な競争法違反です。ロシュでは社員による反競争的行動を固く禁じています。

Q 当局が私の職場で調査を開始しました。ロシュの競合相手との最近の通信が、反競争的な行動の証拠とみなされる可能性があります。この通信を破棄すべきでしょうか？

A いいえ。いかなる場合でも、独占禁止法の調査に関連する可能性のある文書やデータは一切破棄してはなりません。調査があった場合、ロシュは当局に全面的に協力します。

私たち全員に、次のことが求められています

- 該当する競争法を守り、競争法に反する方法を用いて正当な競争を妨害・干渉しないこと。
- いかなる疑問に関しても、法律上のアドバイスを求めること。
- 調査が行われる場合は、当局に全面的に協力すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「Roche Directive Behaviour in Competition（競争における行動について－独占禁止法遵守の指針）」をご覧ください。

正確な報告と会計

ロシュは真実かつ公正な財務情報と非財務情報を作成・報告します

ロシュの事業において、データ作成に誠実であることは重要です。

私たちが作成するデータ、情報、記録、または私たちの責任下にあるデータ、情報、記録が正しく規則に則ったものであることを確認しなければなりません。具体的にはロシュの年次報告書、財務諸表、研究開発データ、個人の旅費・経費精算、電子メールなど様々な形態があります。

ロシュは該当する法律、社内の会計および報告ガイドライン、ならびに社外の財務および財務以外の報告基準に従い、利害関係者(株式や社債への投資家など)、監査人、規制当局、および政府機関に対して、ロシュの財務状況について正しく公正な視点に基づいた情報を提供する必要があります。

私たちは、誤解を招くような記載や項目を報告書、刊行物、記録、経費精算に含めてはなりません。

記録や会計帳簿の捏造、事実の不実表示は、詐欺となることがあります。ロシュが会社として責任を負うだけでなく、違法な行動を取る社員にも重罰が科される場合があります。

Q&A

Q 私のラインマネジャーが、顧客から確定注文が入っていないにもかかわらず、予想される販売を帳簿に追加するよう私に指示しました。このようなことをしてもよいですか？

A そのようなことをしてはなりません。記録や帳簿の変造や事実の虚偽表示は詐欺行為となる場合があります。懲戒処分だけでなく、あなたとロシュに民事および刑事罰が科される場合があります。ロシュの文書では、虚偽または誤解を招くような項目を作成してはなりません。

Q 最近出張が多く、ホテルの領収書をいくつか紛失してしまいました。このような状況にあった同僚が、いくつか虚偽の領収書を提出してもよいと言っています。そのようなことをしてもよいですか？

A よくありません。そのような行動は、経費報告書の捏造になり、禁じられています。適切な解決策について、ラインマネジャーに相談してください。

私たち全員に、次のことが求められています

- 作成・報告する財務情報および非財務情報が正しく規則に則っており、完全であること。
- ロシュの報告書、刊行物、記録やその他の文書において事実と異なる内容を表示しないこと。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

税金

私たちは、事業を展開する各国において公正かつ尊敬に値する納税者であるよう努めています

ロシュは世界中で事業を運営しており、事業を行うすべての国で税の要件を満たすことは当社の義務です。ロシュは関連法令の遵守において、その精神に従います。これにはすべての税が含まれ、その大部分は法人税であり、また売上税や付加価値税も含まれています。

ロシュは公正かつ尊敬に値する納税者です。社会が機能するために不可欠であり、法律は国家主権の一部であることを私たちは認識しています。過去一世紀にわたって、国際社会は、ビジネスにおける国際協力を促進する、特に不当な二重課税を避ける徴税の原則に共通の基盤を見出しました。さらに、持続可能な税務管理の基本原則の一つとして、経済的価値がある場合には税金を払わなければならない、ということが認識されています。グループのビジネスプロセスに文書化されているロシュの構造と取引は、経済的実体および経済的価値がある場合には税金を払わなければならないという原則に基づいています。ロシュの構造は事業目的に整合しており、税金を避けることだけを意図して設定したものではありません。ロシュは、租税回避地または守秘法域が関与する人為的な配慮はしません。

グループの課税所得は、グループ会社間で購入・販売される物品やサービスの移転価格に左右されます。税務当局は、購入に対して低い移転価格を求めたり、販売に対してより高い移転価格を求めたりすることで、より高い課税所得を主張する場合があります。その結果、取引に関与する一社に、より高い課税所得が生じる可能性があります。取引に関与する一方の国の税務当局が収益を相応に調整しない場合、もう一方の国における収益の調整はロシュに対して二重課税となることがあります。

特定のケースにおいて、ロシュとそれぞれの税務当局の間で、現地税法の正しい適用方法を巡り、意見が異なる場合があります。さらに、異なる国々の税務当局の間、または同じ国内であっても関係当局の間で矛盾が生じる場合もあります。これは、例えば関税と税法が常に一致しているわけではないためです。論争が生じた場合には、肯定的な態度で協力し、適用される法律に従い公平な解決策を見出します。

Q&A

Q ロシュは、グループ内の会社間の移転価格をどのように決定していますか？

A 二重課税を避けるため、または少なくともその可能性を低減するために、ロシュの各社は国境を越えた商品およびサービス取引のために、OECDによる「多国籍企業と税務当局のための移転価格算定に関する指針」を適用しています。これには適切な文書化に加えて、実施した機能、想定したリスク運用した資産の分析を行うなどの適切な移転価格の決定方法が定められています。

Q 私は、会社間の契約に記載されている現在または将来の契約条件が、OECD移転価格算定に関する指針や現地の法令に従った公正基準を満たしているかに疑問を持っています。私は何をすべきでしょうか？

A グループ税務担当者と話してください。

Q 国境を越えた取引について税務当局から移転価格について質問を受けた場合はどうすればいいですか？

A 二重課税を避けるため、グループ税務担当者に連絡して状況を詳しく分析し、現地の法令およびOECD移転価格算定に関する指針に従った適切な措置を取ってください。

私たち全員に、次のことが求められています

- 事業を運営する国の税法を遵守すること。
- OECDの「多国籍企業と税務当局のための移転価格算定に関する指針」を適用すること。
- 現地の国税当局間や各国当局との不一致がある場合、積極的かつ肯定的な態度で解決策を見出すこと。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシュの税金へのアプローチ - 概要説明および原則」をご覧ください。

関税、貿易、輸出入管理

物品を効果的かつ効率的に流通させるために

すべての取引は、国外・国内移送に関わらず、国内および国外の関税、貿易規制、また輸出入管理規制の対象となりえます。

ロシュは、事業を行う各国間において矛盾する可能性のある規制を考慮した上で、すべての関税、貿易および輸出入管理に関する規制を遵守しています。これを怠ると、民事および刑事責任が問われることになりかねないほか、輸出入特権を失う可能性があります。

関税と貿易

ロシュは世界中で事業を運営し、常に様々な商品を輸入、輸出、移送しています。商品がタイムリーに通関手続きを終えるには、物流部門が商品輸送の手順を整えたうえで、専門家の指導のもと国内および国際的な規制を確実に遵守しなければなりません。

関税法、外為法などは、数量、原料の種類、輸送手段に関わらず適用されます。税関当局は、関税法などの遵守を確認するだけでなく、例えば動物、農業、医療、薬事、財政、知的財産の規制といった、当国の各関連当局のための国境における手続きを行います。これは、無料で提供されている物品にも適用されます。

輸出入管理

国内または国際輸出入管理規制やロシュの社内指令である「標準輸出規制」に基づいて取引が許可されない場合、外国貿易活動に従事するすべてのロシュの社員は取引を控えなければなりません。

新しい取引先と取引を開始する前に、社員はその会社が国内または海外の制裁対象取引先一覧に記載されていないことを確認する必要があります。商用・非商用製品とソフトウェア・技術に対して、物理的または電子的に、ロシュの内部・外部に関わらず輸出入手続きをする前に、社員はその物品が規制対象でなく、当局からの輸出入・再輸出入許可が必要ではないことを確認しなければなりません。また輸出先の中には、禁輸国または制裁国に当てはまる包括的な対外貿易の規制対象国もあり、輸出手続きを行う前に追加の管理を必要とするものもあります。

Q&A

Q 私は、国境を越える出荷の書類を用意しています。どのようなことに注意する必要がありますか？

A 商品の出荷に携わるすべての社員は、輸出手続きに対する完全かつ正確な情報を提供する責任があります。特定の場所や特定の物品の出荷は、制限および禁止されている場合がありますので注意してください。詳細については、各国の輸出入管理責任者に連絡してください。

Q 海外にいるロシュの同僚に、米国のIT機器を輸出したいのですが、ロシュ社内から出ることがないにも関わらず、本当に税関、貿易、輸出規制をチェックする必要があるのでしょうか？

A あります。出荷内容に関わらず、配送手続きをする前に、ローカルの物流部門と輸出入管理責任者からの指導を求める必要があります。

Q 違反の可能性あることに気づいたら、私にはどのような義務があるのでしょうか？

A よくわからない事例については適宜、専門の関連部門に問い合わせるか、可能性のある違反に対処してください。

私たち全員に、次のことが求められています

- 真実かつ完全な情報をタイムリーに伝えること。
- 輸出手続きを開始し適用する際に、国内外の税関、貿易規制、輸出入管理規制に準拠していることを確認すること。
- 関連する専門部署にタイムリーに連絡すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、ロシュの「標準輸出規制」をご覧ください。

データプライバシー

個人データの慎重な処理

プライバシー権は基本的人権です。

個人データの保護と責任ある使用は、私たちの日常業務に反映されます。データは、患者さんのための革新的な治療と診断のソリューションを開発するための貴重な要素であり、優れたビジネスを推進するものであるとロシュは考えています。したがって、データ提供者を尊重し、彼らにとって好ましいパートナーになることを目指しています。ロシュは、データを合法かつ公正、そして倫理的な方法で収集し、使用することに責任をもって取り組んでいます。また人々の信頼を獲得し、維持するために個人のプライバシーを常に尊重します。

ロシュは、ロシュとロシュが信頼を置くサービスおよび協力パートナーが個人データに関連する法令を遵守して個人データを取り扱うことに説明責任を負っています。

特定された、または特定可能な個人に関連する情報はすべて、適用されるデータプライバシー法（スイス連邦データ保護法、EU一般データ保護規則（GDPR）、米国医療保険の携行性と責任に関する法律（HIPAA）など）に従って収集および処理される必要があります。このような個人データにアクセスできるロシュの社員には、プライバシーの原則（合法で公正で透明性のあるデータ処理、目的の制限の尊重、データ最小化の原則、正確性、保管の制限、完全性、および機密性など）を適用することが求められています。

ロシュが個人のプライバシー権を保護するために利用する手段には、匿名化、仮名化、または非特定化など同様の概念があります。匿名化されたデータにアクセスできるロシュの社員は、匿名データの元となる個人の身元を（再）特定するような行動を取ってはなりません。また、仮名化されたデータにアクセスできるロシュの社員は、適用法令の遵守に必要な場合を除き、仮名化されたデータに関連する個人の身元を特定してはなりません。ロシュにサービスを提供する業者や提携パートナーにも同じことが求められます。

ロシュは、個人のプライバシー権を保護するために、更なる適切なガバナンスと保護手段を採用します。チーフデータプライバシーオフィサーが専門家とともにグローバルネットワークを調整します。

私たち全員に、次のことが求められています

- 適用される法令、プライバシーの原則、およびロシュのコミットメントに従ってデータを収集、使用、および保存すること。
- いついかなる時も常に個人のプライバシーを尊重すること。
- 匿名化されたデータを再特定可能にしたり、再特定可能にする試みを行ったりしないこと。
- ロシュが責任を負う個人データの処理またはアクセスには信頼のおける第三者を慎重に選択し、適切な契約を結ぶこと。

Q&A

Q データプライバシーに関する質問がある場合、どの専門家に問い合わせたらよいですか？

A チーフデータプライバシーオフィサー（global.privacy@roche.com）またはローカルのデータプライバシーコーディネーターに問い合わせてください。

Q 許可を持たない者が個人データにアクセスしたことに気づいた場合、どうしたらよいでしょうか？

A 許可を持たない者が個人データにアクセスするインシデントは、プライバシー侵害になる可能性があります。適切なチャンネルを通じてすぐに報告してください。

Q データの処理に社外の業者を利用する場合、懸念事項はありますか？

A はい。ロシュが第三者にデータを提供する場合、プライバシー法に基づきロシュが責任を負います。法的義務を果たすために、外部のベンダーを査定し、契約を結ぶことが必要です。データ処理の目的と方法をロシュが決定する場合、第三者によるプライバシー法の遵守に責任を負うのはロシュです。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。



個人としての誠実さ

利益相反

個人的な利害を仕事上の判断に影響させてはなりません

利益相反は、社員の個人的な利害がロシュの利害と一致せず、ロシュに対する忠誠心に反するときに起こります。ロシュの社員である私たちは、個人的な利害がロシュの利害と対立する、または対立すると他者に思われるような状況を避けなければなりません。

また親族や友人などの活動も、利益相反を起こす場合があります。私たちの利害が、ロシュの最善の利益と対立するような決定に参加したり、影響を及ぼしたりすべきではなく、またそのように見なされてはなりません。

私たちは、ロシュにおける立場を個人的な利益や親族や友人の利益のために不適切に利用してはなりません。私たちは副業を受諾する前に、利益相反が起きる可能性について慎重に検討しなければなりません。

第三者機関の役員会など、ロシュ社外での専門的関係も利益相反につながる場合があります。したがって、第三者企業や商業組織、また科学諮問委員会の委員を引き受ける際には、Roche Directive on Employees Holding Board Memberships (役員職を持つ社員に関するロシュ指令) に定義されているように、関連するロシュの役員からの事前承認を受ける必要があります。慈善団体、非営利組織、スポーツクラブや慈善事業といった非商業組織の役員会への参加についての事前承認は必要ありません。

実際の利益相反や潜在的な利益相反の多くは、個人と会社の双方にとって受け入れ可能な方法で解決することができます。利益相反が生じた場合、社員は適切な解決策を見出すためにラインマネジャーに直ちに報告してください。

周りに与える印象も重要です。ロシュの社員は、実際の利益相反を避けるだけでなく、外部の者から利益相反であると思われる状況や、社員自身が認識していない状況ですら避ける必要があります。

Q&A

Q 特定の状況が利益相反になるかどうか疑問があります。どうしたらよいですか？

A 疑問がある場合、適切な解決策を見つけるためにラインマネジャーに直ちに報告してください。

Q 私の妻は、ロシュの受注候補先に上がっているサプライヤー企業のマネジャーです。私は選択プロセスに影響を及ぼすことができます。どのように対処すべきですか？

A この件では、あなたの妻の立場が原因となる明らかな利益相反関係があります。この関係をあなたのラインマネジャーに知らせ、あなた自身はその決定に関与しないことが重要です。ラインマネジャーはあなたの妻が働く企業との取引がロシュにとって最善の利益となるかどうかを判断します。ロシュにとって最善である場合、あなたとの利害関係に関わらず、ラインマネジャーはそのサプライヤーを選択する場合があります。

Q 友人がバイオテクノロジー会社を設立し、私に取締役になってほしいと言っています。どうしたらよいですか？

A 利益相反となる可能性があるため、この状況をラインマネジャーに報告することが必要です。ロシュの社員が第三者の営利企業の役員を引き受ける場合は、ロシュ指令に定められた役員から書面による事前承認が必要です(引き受ける役職により、取締役会長、ロシュCEO、または経営委員会メンバーのいずれかが承認します)。

Q 私はラインマネジャーですが、自分のチームで雇ってもらえるかと娘から尋ねられました。これは利益の対立になりますか？

A 一般論として、利益相反と思われるのを避けるために、ごく近い親族関係にある社員は直属の上下関係で勤務するべきではありません。

私たち全員に、次のことが求められています

- 個人の利害がロシュの利害と対立する状況を避けること。
- ロシュにおける立場を個人的な利益や親族や友人の利益のために不適切に利用しないこと。
- 実際に利益相反関係にある場合や潜在的な利益相反がある場合は、ラインマネジャーに直ちに報告し、適切な解決策を見出すこと。
- 第三者企業、営利企業、科学諮問委員会の役員を務めることを検討する場合、直ちにラインマネジャーに報告すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「役員職を持つ社員に関するロシュ指令」をご覧ください。

贈り物と接待

個人としての誠実さに懸念をもたらすような贈り物や接待は行わず、また受け入れてはなりません

個人的または仕事上の友人関係という純粋な理由から贈り物や接待があった場合でも、誤解を受けたり、影響力を与える不適切な利益供与と誤解されたりすることがあります。私たち個人としての誠実さやロシュの独立性に懸念をもたらすような贈り物や接待をしたり、受けたりしてはなりません。

国公立または民間を問わず、既存または潜在的な取引先との間で、実際に不適切な関係が生じること、またはそのような印象を周りに与えることを回避するため、ロシュの社員には以下の方針が定められています。

贈り物と接待の提供

- 贈り物や接待は、相手の意思決定に影響を与えようとしているという印象を周りに与える危険がなく、かつ適切である場合のみ、取引先に提供することができます。
- 贈り物の金額は最小限にとどめ、接待費は妥当な金額を超えてはなりません。贅沢品や不適切な贈り物、過剰な接待は厳しく禁じられています。

贈り物と接待の受領

- 既存または潜在的な取引先に対して、贈り物や接待を要求することは一切禁じられています。製品のみでなくあらゆる形での利益供与もこの対象となります。
- 要請しないのに贈り物や接待が提供された場合は、一般的な儀礼の程度、かつ、地域で受け入れられている商慣習に従っている場合には受領しても構いません。
- 接待は、それが一般的なビジネスの流れに沿ったものである場合には受けることが出来ますが、贅沢なものでなく、適切と思われる場所である必要があります。

医療従事者、医療機関、患者団体などの特定の団体や個人に提供される贈り物と接待については、より厳しい規則があります。

要請していない贈り物や接待の受領において適切かどうか疑問がある場合、ラインマネジャーに相談する必要があります。

Q&A

Q ロシュの顧客が設立50周年を記念してディナーパーティーを開きます。ビジネスの要人や政府の官僚なども出席します。私も招待を受けました。出席してもよいですか？
A ロシュの代表として招待されていて、ラインマネジャーの同意があり、ローカルの規制に適合している場合は出席できます。

Q ロシュの主要サプライヤーが長期にわたる顧客であることへの謝礼として、私と妻をゴルフに招待しました。招待を受けいいてもよいですか？

A 受け入れてはなりません。この招待を受け入れると、あなた自身とロシュの誠実さと独立性に影響する可能性があります。特にその招待が贅沢な印象を与えるもので、家族など事業に関係のない者にも及ぶ場合はその可能性があります。

私たち全員に、次のことが求められています

- 贈り物や接待の提供および受領は、私たち個人としての誠実さに加え会社としての誠実さと独立性について疑われないようにすること。
- 既存または潜在的な取引先に贈り物や接待を要請しないこと。
- 疑問がある場合、ラインマネジャーに相談すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、Roche Directive on Integrity in Business (ロシュ指令「業務上の行動-誠実なビジネスを行うための指針」)をご覧ください。

インサイダー情報と取引

私たちはインサイダー情報を保護し、インサイダー取引を防止します

インサイダー情報とは、ロシュまたはその取引先に関する非公開の情報であり、通常の投資家が会社の株式を売買するかどうかが判断する際に重要であると考えられるものを指します。このような情報には財務結果、合併、買収、売却の可能性についての情報、資本増加、キャピタルマーケットの取引、重要なライセンス契約やその他の提携、主要治験の結果などが含まれます。

業務上、インサイダー情報を知り得るロシュの社員は、意図的か偶然かを問わずインサイダーとみなされます。同様に、非社員であってもこうしたインサイダー情報を得る場合インサイダーとなります。

インサイダーは以下のルールに従う必要があります。

- インサイダー情報は極秘とし、家族を含め、ロシュの社内外の人間に開示してはなりません。
- インサイダーは、ロシュの株式または関連する上場企業の株式を株式取引において売買することはできません。
- インサイダーは、非インサイダーに対して株式取引の推奨を行ってはなりません。

ほとんどの国でインサイダー取引は違法であり、インサイダー自身およびロシュが罰せられる可能性があります。

Q&A

Q ロシュが別の製薬会社を買収する予定であるという噂を聞きました。ロシュの株式や相手先の株式取引を行ってもよいですか？

A 噂はインサイダー情報ではないため、原則としてこのような取引は許可されます。ただし、取引に関わっている可能性のあるロシュの社員から噂を聞いた場合は、慎重に扱い、株式を売買する前にグループの法務部門に連絡すべきです。

Q 私は機密情報で非公開とされているロシュの中間業績報告の写しを発見しました。この結果は競合会社の株価に大きく影響すると考えられます。この情報を基に、競合会社の株式を購入することはできませんか？

A いいえ。機密情報を用いた行動は一切禁じられています。これは、たとえその情報があなたと会社が使用するためのものであったとしても同様です。その中に、有益な情報が含まれ、競合会社の株価に大きな影響があると思われる場合、あなたは偶然によるインサイダーとみなされるため、適用されるインサイダー規則に従わなければなりません。

私たち全員に、次のことが求められています

- インサイダー情報を保護すること。
- 自分または他者の利益のためのインサイダー取引を防止すること。
- 「ロシュグループのインサイダー指令」の範囲や適用について質問や疑問がある場合は、グループの法務部門に連絡すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシュグループのインサイダー指令」をご覧ください。



雇用

ロシュの雇用基準

ロシュはやりがいのある挑戦と高い水準を設定しています

「誠実、勇気、情熱」というロシュの価値観は、私たちの決断と行動の指針となります。これらはロシュの社風の中心でありロシュグループ全体に適用されます。

ロシュでは、互いを尊重し、信頼し合う社風を促し、また期待しています。ロシュはチームワークを重視するオープンな職場を提供します。

Roche Group Employment Policy (ロシュグループ雇用規程) は、ロシュ全グループ or 全関連企業に対して統一された最小限の基準を定め、社員への要求も記載しています。この規程は、採用、昇進、キャリアの開発、報酬、多様性と開かれた職場環境、強制労働と児童労働の禁止、所属部署の自由を定めています。

ロシュの「リーダー7か条」は、ロシュのリーダーとして求められる姿勢を明確に定めており、部下へのコミットメントが示されています。そして業務分野や職位に関わらずすべてのリーダーに常にこの約束を実践するよう求めています。

『私は、ロシュ全社員は優れたリーダーに恵まれるべきだと信じています。そうなるために、私は常に模範となり、以下を通じて「誠実、勇気、情熱」というロシュの価値観を率先して実行するよう努力しています。

1. 私は、「人」に対して、心から興味を持ちます。
2. 私は、「人」の話を聴き、事実を伝え、根拠を説明します。
3. 私は、「人」を信頼し、判断する権限を与えます。
4. 私は、「人」の潜在能力を見出し、育てます。
5. 私は、妥協することなく、最高の結果を追い求め続けます。
6. 私は、業務を単純化し、優先順位をつけます。
7. 私は、成果を出した「人」を褒め、感謝し、皆で祝福します。』

ロシュは、誰もがアイデアや意見を言うよう奨励されていると感じられる環境を育てています。部下と上司の関係にはオープンな意思の疎通が欠かせません。この関係を強めるために、ロシュでは、「Check-Ins〇(チェックイン)」と呼ばれる頻繁で気軽な社員を中心とする話し合いの制度を導入しています。

ロシュは、定期的に各国の社員に対するアンケート調査 (GEOS) を行い、改善点を特定するため、社員のニーズや期待について匿名で意見を収集しています。また、この調査は業務に関するエンゲージメントを測ることも目的としています。

ロシュは全社員に対し、法令で認められた社員組合に加入する権利を尊重し、社員代表に関連するすべての法令を遵守します。ロシュでは、すべての社員代表とオープンな対話が行われるよう努めています。

Q&A

Q 「誠実、勇気、情熱」というロシュの価値観は、私の日常的な業務でどのような意味を持ちますか？

A これらの価値観は日々の業務における決断や行動の指針として実行してください。

Q 悪い結果を恐れることなく意見を述べることを促進する社風がロシュにとってこれほど重要なのはなぜですか？

A ロシュは、この社風は誠実さとコンプライアンスに基づくものであると固く信じています。また、このような社風はロシュの事業を支える革新的なアイデアを可能にし、またそのきっかけとなります。

Q 私には障害を持った友人がいます。この友人がロシュでは公平な採用をしてもらえないだろうかと尋ねてきました。どう答えたらよいでしょうか？

A ロシュでは社員の能力を重視しています。また、雇用機会を提供し、同僚として完全に受け入れることにより、積極的に障害のある方を支援しています。

私たち全員に、次のことが求められています

- ロシュの価値観に沿った行動をすること。
- Roche Group Employment Policy (ロシュグループ雇用規程) に定められるロシュの心構えを実践すること。
- リーダーは、日々、リーダーシップコミットメントを率先して実行すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシュグループ雇用規程」をご覧ください。

差別とハラスメント

多様性と開かれた職場環境がインスピレーションを生み出します

ロシュは、これまでとは違う新しい考え方に対して常に開かれた態度で接し、文化の異なる様々な国で事業を営んできました。多様性には慎重なリーダーシップが求められます。これは、誤解と対立を避け、多様性の価値をすべて有効に活かすためです。私たちは、開かれた職場環境を通じて実現される多様性を重視し、また維持しています。それは多様性に富む環境が革新をもたらし、社員の意識をより高めることにつながると信じているからです。多様な経歴や文化、言語、思想、アイデアを持ったロシュの人材が、競争上の優位性をもたらすのです。

私たちは、様々な部門、会社、国境を越え、世界で一体となって仕事をしている大勢の仲間なのです。ロシュの開かれた社風とは、社員一人ひとりの違いを理解し、新しいアイデアや働き方を認め合い、すべての社員がそれぞれの能力を最大限発揮することのできる環境を積極的に作り上げていくことです。

ロシュは、すべての社員とロシュでの仕事を希望する人たちに、平等に接します。社内教育や昇進に際しても機会均等を確保し、職場における差別やハラスメントは一切認めません。

また社員が、職場において個人の尊厳を傷つけられるような威圧的、敵対的、屈辱的な環境にさらされたり、攻撃的、虐待的、その他の望ましくない行動（例えば、身体的、性的、心理的、口頭、その他のあらゆる形態での嫌がらせ）を受けたりするような状況も容認しません。ロシュの規程では、社員がその性別、人種、年齢、民族、出身国、宗教、障害、性的嗜好、病歴、市民権、遺伝子情報、能力、その他適用法の下で保護されている特性を理由として差別を受けることがないよう定めています。

これらの規程は、雇用、職務の割り当て、昇進、報酬、懲戒、解雇など、雇用関係のすべての面において適用されます。

誰かが差別またはハラスメントを受けていると思われる場合、その誤った行為について通報すべきです。

Q&A

Q ロシュが多様性を尊重するのはなぜですか？

A 多様な新技術やアプローチに対して常に開かれた姿勢のロシュは、設立当初から医学における画期的な功績を挙げています。多様性は革新における重要な前提条件であるだけでなく、全社員に個人的、文化的な豊かさをもたらします。

Q 私はラインマネジャーに嫌われていると感じています。様々な方法で私を批判します。どうしたらよいですか？

A 悪いリーダーシップスタイルが法的なハラスメントや差別に当たるとは限らない点に注意してください。しかし、あなたが差別やハラスメントの対象となっている場合、速やかにラインマネジャーに直接オープンに話すべきです。あるいは、人事部門の担当者またはローカルコンプライアンスオフィサーに連絡することも可能です。また、ロシュグループSpeak Upラインも利用できます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 多様性が、重要でイノベーションを推進するものであり、かつ社員の意欲を高める機会であると認識すること。
- 誰に対しても差別的なことを行わないこと。
- 職場でのハラスメントは一切行わないこと。
- 職場における差別やハラスメントに気付いた場合は、通報すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、Roche Group Employment Policy (ロシュグループ雇用規程) をご覧ください。

安全、健康、環境

安全で健康な職場、クリーンな環境、持続可能な製品を促進・提供します

安全、健康、環境保護 (SHE) は、ロシュが事業を行う上で不可欠な要素であり、あらゆる事業関連の活動と同等のコミットメントをもってこれに取り組んでいます。

ロシュは、安全、健康、環境に関して適用される法令、ロシュの基準やベストプラクティスに従って事業を行っています。私たちは安全で保障された、健康的でクリーンな職場環境を提供するため、合理的かつ実用的なあらゆる方策を尽くしています。

ロシュのSHEに関する方針は、必要とされる技術的、組織的、個人的対策を通じて体系的に実施されます。SHEのリスクは体系的に分析および評価され、必要に応じて低減または排除されます。ロシュは、ロシュの全施設においてSHEの専門家を雇用し、SHEの体系的な実施をサポートします。

ロシュは、実行可能で経済合理的である限り、改善を継続していくために最大限の努力を行います。ロシュは、人々や環境へのロシュの影響を最小限にとどめるための、新しくより持続可能性に富むテクノロジーとプロセスを採用するよう積極的に努めています。ロシュは、持続可能性の向上のためにロシュの製品とサービスを継続的に開発していきます。また資源消費、廃棄物発生、環境汚染を削減し、地球温暖化と気候変動に対処するためのイニシアチブを開始し、実行します。

ロシュは困難なSHEの目標を定め、ロシュのパフォーマンスを定期的にモニターし、行動、プロセス、設備が最新鋭のものであることを徹底させます。

社員一人ひとりが、その任務によって求められる範囲で知識、能力、経験の限りにおいて、職場における安全、健康および環境の保護に個人的に責任を負います。一方、マネジャーはSHEへの全般的な責任を負います。私達全員が改善できる分野を特定し、安全性の改善とよりよい環境に向けてたゆまぬ努力をすることが奨励されます。

Q&A

Q ロシュにとって、環境保護はどの程度重要ですか？

A 環境保護はロシュにとって、優先すべき事項です。持続可能な発展への責任を果たすため、ロシュでは新しく、より持続可能性の高い技術やプロセスを積極的に取り入れ、環境に対する影響を最小限に抑えています。ロシュの全社員は、その責任と影響の範囲内で、環境の保護に貢献してください。

Q 複数の部署と国にわたる問題を抱えています。異なるチームを集め、この件について話し合うために会議を計画しています。SHEに関しては何を考慮すべきでしょうか？

A 飛行機での出張は、ロシュのトータル・エコバランスに大きく影響します。したがって、以下の方法などにより、ビジネスのためのフライトを最小限に抑える必要があります。(例) ビデオまたは電話による会議を行う。直接会うことが必要な場合、会議の参加者数を減らし、チーム全員ではなく、適任の代表者一人を送る。合計の飛行距離が最小になる場所を選ぶ。他の出張と組み合わせることで飛行距離を減らす。全参加者にとって安全な場所を選ぶ。

私たち全員に、次のことが求められています

- 私たちの知識、能力、経験のおよぶ範囲において、職場における安全、健康、環境を守ること。
- 安全、健康、環境に対する考え方を日々の業務に反映させること。
- 安全でない場合は作業を中断すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシュグループの安全、健康、環境に関する方針」をご覧ください。



包括的な
コンプライアンス管理

コンプライアンスの責任

ロシュのコンプライアンス—コンプライアンスには私たちの貢献が必要です

私たちは、厳しい規制のある業界で業務を行っています。法令および規則等の要求を守ることは、ロシュの業許可を維持する上での前提条件です。

コンプライアンスとは、私たちの行動が、該当する法令、規則、業界規約、ロシュの誠実なビジネスを行うための指針に沿ったものであることを指します。

ロシュでは包括的なコンプライアンス管理システム (cCMS) の導入および実施を確実に行うことを明言しています。cCMSはコンプライアンスに反する行為を防止するほか、コンプライアンス違反を事前に察知して対応するために、関係する人々や目的、原則、方針、過程を包括的に管理します。

ロシュではコンプライアンスの基盤は社員一人ひとりの責任感に掛かっていると考えています。このため、私たちは常に、仕事上自身の責任範囲にあるコンプライアンス上のリスクを十分に見極め、それを検討し管理しなければなりません。ロシュでは、業績の達成だけでなく、業績をどのように達成したか、そしてどのような影響を及ぼしたかも考慮したうえで評価を行います。

私たちはコンプライアンスがマネジメントの重要な一部であることを理解しています。実際のところ、コンプライアンス違反の多くは、指導が疎かであったり指導力不足が原因であったりします。このため、ロシュのリーダーシップコミットメントの一部として、ロシュのラインマネジャーは、慎重に部下を選び、指示を出し、モニタリングする義務を負っています。また社員の業績評価ではコンプライアンスについて考慮することも求められています。ロシュでは、ラインマネジャーが自身の責任を果たせるよう十分な研修の機会を提供しています。

コンプライアンス部門は様々な方法で社員やラインマネジャーを包括的なコンプライアンス管理の観点からサポートする責任を持ちます。

Q&A

Q 私のビジネスターゲットを達成するためにビジネスパートナーに不適切な利益を供与することを検討しています。ビジネスターゲットを達成するために、不適切な利益を供与することは正当化されますか？

A いいえ。ビジネスターゲットが厳しいことは、ロシュのインテグリティ基準に違反する正当な理由や口実にはなりません。あなたの行動はあなたの責任です。責任を問われる可能性があることを覚えておいてください。

Q 私はラインマネジャーです。包括的なコンプライアンス管理における私の役割とは何ですか？

A コンプライアンスはマネジメントの重要な一部です。あなたはリーダーとして、部下を慎重に選別、指導、また監督するなどの責任があります。

私たち全員に、次のことが求められています

- 包括的なコンプライアンス管理における責任を認識する。
- 仕事上、私たちの責任範囲にあるコンプライアンス上のリスクを十分に見極め、常にそれを検討し管理すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

ヘルプ&アドバイス

質問することは防止策のひとつです

日常業務において、ロシグループ行動規範またはその中で言及されている資料（例えば指令、方針やガイドライン等）に明記されていない状況に遭遇することがあります。何が適切な行動なのかよくわからない場合は、以下を考えてみてください。

- 私の行動は合法か？
- 私の行動は、ロシの価値観に沿ったものか？
- 私の行動は、ロシグループ行動規範を遵守しているか？
- ロシまたは私自身に、重大な影響を及ぼす可能性があるか？
- 新聞で報道されてもかまわない行動か？

ほとんどの場合、これだけで判断することが可能です。しかし、それでも疑問や不安がある場合、支援やアドバイスを求めることが正しい選択となります。

ロシは、自由な質問が許される文化を育むことで何よりもまずコンプライアンス違反の防止を目指しています。ロシのラインマネジャーは、その直属部下全員に対し、ロシグループ行動規範を守るために必要な支援とアドバイスを提供する責任があります。

疑問に対処してもらうための連絡先：ラインマネジャー、ローカルコンプライアンスオフィサー、チーフコンプライアンスオフィサー、またはロシグループ行動規範のヘルプ&アドバイスライン (RoCoCHAL)

Q&A

Q 適切な業務上の行動について疑問がある場合、どうすればよいですか？

A 新聞で報道されてもかまわない行動かどうかなど、自分に尋ねてみてください。疑問がある場合は支援とアドバイスを求めてください。

Q 支援やアドバイスはどこで得ることができますか？

A ラインマネジャー、ローカルコンプライアンスオフィサー、チーフコンプライアンスオフィサーに連絡を取ることができます。また、ローカルやリージョンで利用できるヘルプ&アドバイスツールのほかに、ロシグループ行動規範のヘルプ&アドバイスラインにリクエストをあげることもできます。

私たち全員に、次のことが求められています

- 業務上の適切な行動が何かよくわからない場合は、支援とアドバイスを求めること。
- 直属の部下に支援とアドバイスを提供すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシグループ行動規範のヘルプ&アドバイスラインの使用に関するロシ指令」をご覧ください。

通報 (Speak up)

通報は正しい行動です

ロシュグループ行動規範への違反があったのではないかと善意で考え、通報することは正しい行動であり、ロシュの価値観に沿っています。

ロシュの経営陣は、迅速かつ信頼の置ける方法で解決するために、誠実さに関わる問題について認識する必要があります。コンプライアンスについての懸念を通報することが、ロシュの社員自身を守り、同僚やロシュの利益を守ることに繋がります。

コンプライアンスについて懸念がある場合は、ラインマネジャーに相談してください。ラインマネジャーと懸念について直接話したくない場合は、ローカルコンプライアンスオフィサー、チーフコンプライアンスオフィサー、法務部門、人事部門のほか、自社またはグループ内の通報ラインまで連絡してください。

適用される各国の法令に従い、ロシュグループSpeak Upラインは、ロシュの社員がコンプライアンスに関する懸念をいついかなる場所でもインターネットや電話を通じ、自国語で報告することができます。このシステムは外部の会社によって管理されており、希望する場合には匿名で通報することも出来ます。ロシュグループSpeak Upラインの無料の電話番号とウェブサービスのURLへのアクセス方法は、ロシュのイントラネット、speakup.roche.comに掲載されています。

社員が善意に基づいてコンプライアンスに関する懸念を通報することはロシュの利益にかなうもので、正しい行動です。善意に基づいてコンプライアンスに関する懸念を通報する社員に対する報復は一切認められません。報復するラインマネジャーと社員には責任が問われます。この原則に従わない社員がいる場合、CEO、チーフコンプライアンスオフィサー、チーフ・ピープル・オフィサー、監査委員会またはCorporate Governance and Sustainability Committee (コーポレートガバナンスおよび持続可能性委員会)のメンバーに通報してください。

同時に、ロシュは通報チャンネルの悪用も容認しません。

Q&A

Q ロシュグループSpeak Upラインとロシュグループ行動規範ヘルプ&アドバイスライン (RoCoCHAL) の違いは何ですか？

A ロシュグループ行動規範ヘルプ&アドバイスラインは、コンプライアンス違反を防止するための一助となるものです。ロシュグループSpeak Upラインはコンプライアンス違反だと考えられる状況が発生した後、これを通報するためのものです。

Q いつ通報すべきですか？

A 誰かがロシュグループ行動規範に違反したことがある、違反している、または今後違反すると善意に基づいて考えられる場合に通報してください。

Q 通報チャンネルとして利用可能なものは何ですか？

A 一般的には、ラインマネジャーが第一の連絡先です。あなたの懸念をラインマネジャーと話したくない場合は、ローカルコンプライアンスオフィサー、チーフコンプライアンスオフィサー、法務部門、人事部門、自社またはグループ内の通報ライン、またはロシュグループSpeak Upラインまで連絡してください。

Q ロシュグループSpeak Upラインは匿名で利用することができますか？

A できます。ロシュグループSpeak Upラインは外部の会社によって管理されているため、匿名で通報するオプションが提供されません。

私たち全員に、次のことが求められています

- 誰かがロシュグループ行動規範に反する行動を取ったことがある、またはそのような行動を取っている場合、もしくは今後そのような行動を取る可能性がある場合、善意に基づいて考えた場合には、通報すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「ロシュグループSpeakUpラインの使用に関するロシュ指令」をご覧ください。

コンプライアンスオフィサー

コンプライアンスオフィサーは私たちをサポートします

チーフコンプライアンスオフィサー (CCO) は、コンプライアンスオフィサーとともにロシュグループ全体で常にロシュグループ行動規範を守ることに尽力します。また、チーフコンプライアンスオフィサーはロシュグループ行動規範の実施とコンプライアンスに関連した事項について、株主、社員、顧客、サプライヤーおよび一般市民向けの連絡先となっています。

ロシュグループ各社では、それぞれコンプライアンスオフィサー (ローカルコンプライアンスオフィサー) が任命され、次のような義務を負います。

- 社員がビジネス行動の適切性に関して疑問を持つ際に、支援やアドバイスを求める窓口を社員に知らせておく
- 医薬品部門と診断薬部門間の相乗効果を生み出す、また利点を生かすためのローカル、リージョン、またグローバルのコンプライアンス部門との協力やネットワークづくり
- 各国のコンプライアンスに関する企画、構想や研修プログラムの手配
- コンプライアンスモニタリング、コンプライアンス管理、またコンプライアンス監査のサポートと実施
- 各国のラインマネジャーのリスクマネジメントのサポート
- コンプライアンス違反問題への対応に関する、ラインマネジャーのサポート (Business Ethics Incident Reporting (BEIR) system (業務上倫理事件報告システム) への報告を含む)
- コンプライアンス違反が疑われる場合は報告するよう社員を促すこと

チーフコンプライアンスオフィサーはローカルコンプライアンスオフィサーとのネットワークを構築し、ベストプラクティスの実例をネットワーク全体で定期的に共有します。また、世界的なコンプライアンスツールが常にチェックされ、最新を保ちます。

Q&A

Q 利害関係者が、ロシュの社員がロシュグループ行動規範に反したと主張してロシュに苦情を訴えたいと言っています。この利害関係者は誰に連絡すべきでしょうか？

A チーフコンプライアンスオフィサーが、ロシュグループ行動規範の実施とコンプライアンスに関連した事項に関する、株主、社員、顧客、サプライヤーおよび一般市民向けの連絡先です。

Q 私はロシュ関連会社の営業マネジャーです。ロシュの誠実なビジネスへの期待を考慮し、私のラインマネジャーからの指示に懸念を感じています。どうしたらよいですか？

A 自分のラインマネジャーに直接懸念について伝え、話し合ってください。ラインマネジャーの答えに不満がある場合は、ローカルコンプライアンスオフィサーに連絡してください。ローカルコンプライアンスオフィサーはコンプライアンスについてのあなたの懸念を深刻に受け止め、秘密を守って対応します。

私たち全員に、次のことが求められています

- アドバイスを求めたい場合や、コンプライアンスについて懸念があるものの、ラインマネジャーに連絡することに不安を感じる場合は、ローカルコンプライアンスオフィサーに連絡すること。
- 自社の経営陣またはローカルコンプライアンスオフィサーに連絡することに不安を感じる場合は、チーフコンプライアンスオフィサーに連絡すること。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。

コンプライアンス違反への対応

コンプライアンス違反への適切な対応は包括的なコンプライアンス管理の重要な一部です

ロシュはコンプライアンスに反する行動を一切認めません。ロシュグループ行動規範に違反した社員、およびラインマネジャーはその責任を問われ、相応の措置がとられます。

ロシュでは次の手順をもってコンプライアンス違反に対応することを徹底しています。

- 申立はすべて真摯に受け止める
- 申立はすべて効率的かつ適時に調査する
- 実態を客観的かつ公平に評価する
- 違反が証明された場合、適切な是正措置、または制裁措置をとる

告発された社員であっても、自身の主張を聞いてもらう権利を持ち、収集された証拠によってその行動がコンプライアンス違反であることが合理的に証明された場合以外は、ロシュグループ行動規範に従って行動したものと推定されます。ロシュはロシュの行動がコンプライアンスに従って行われたものであることを証明するために調査委員などと全面的に協力します。

特定の告発内容、特に贈収賄や不正行為などに係るものはロシュグループ監査およびリスクアドバイザリー部門の指揮の下、専門家によって調査が行われます。

ラインマネジャーは人事部門やローカルコンプライアンスオフィサーとともに適切な是正措置、または制裁措置をとる責任を負います。

ロシュグループ行動規範に違反する行動が見つかった場合、できるだけ早くローカルコンプライアンスオフィサーによりBEIRシステムで報告される必要があります。

BEIRシステムは経営陣やチーフコンプライアンスオフィサー、チーフグループ監査幹部、またリスクアドバイザリー部門幹部が違反告発を第一報から終結まで追跡し、監視することを可能にします。コンプライアンス違反の年間件数や関連件数は、Roche Holding Ltd.の年間報告書で公開されます。

Q&A

Q 「コンプライアンスに従って行われたものであることの証明」とは何ですか？

A コンプライアンスに従って行われたものであることの証明とは、例えば利益相反が発生した際のラインマネジャーからの決裁書など、社員の行動が適切であったことを証明する証拠を指します。

Q ラインマネジャーがロシュグループ行動規範に反する行動をするよう私に要求した場合はどうすべきですか？この場合、ラインマネジャーに要求されたとメモを取っておくだけで実証になりますか？

A いいえ。ラインマネジャーがロシュグループ行動規範に反する行動を要求した場合は利用可能な通報チャンネルを利用して報告すべきです。

私たち全員に、次のことが求められています

- コンプライアンス違反防止のため、あらゆる努力をつくすこと。
- 調査員に全面的に協力し、確実にコンプライアンスに従っていることを証明すること。
- コンプライアンス違反が生じたら、ラインマネジャーとして直ちに適切な是正策を取ることを。

詳しい情報とガイダンス

ロシュのインターネットおよびイントラネットから入手できます。詳しい情報については、「コンプライアンス違反の適切な対応に関するロシュ指令」をご覧ください。



連絡先と参照先

連絡先と参照先

コンプライアンスについての連絡先

最新のコンプライアンスオフィサーの名前と連絡先は、ロシュのイントラネットに掲載されています。

参照先

ロシュグループ行動規範の各章に記載されている詳細情報とガイダンスは、ロシュのイントラネットおよび公開されている場合はロシュのインターネットからご覧いただけます。

ロシュのポジションペーパーは、主要利害関係者との社内および社外におけるコミュニケーションの内容を統一させるためのものです。これらはロシュのインターネットから入手できます。

ロシュグループ行動規範の主要メッセージを支持し、業務における誠実さの重要性を説明するために、ロシュは、包括的なコンプライアンス管理システム (cCMS) を設定しています。これには、「ロシュの業務における行動」 (RoBiB) などのeラーニングプログラム、および「コンプライアンス・ポッドキャスト」などの他の使いやすいトレーニングツールが含まれます。

ロシュグループ行動規範は次のURLからモバイルデバイスで閲覧することもできます：
codeofconduct.roche.com。ハードコピーをご希望の場合は、バーゼルのコンプライアンスアドミニストレーター (global.compliance_administration@roche.com) までご要請ください。

発行者

F. Hoffmann-La Roche Ltd
Group Legal Compliance
4070 Basel, Switzerland

© 2023

本書中の商標はすべて法律により保護されています。

www.roche.com

77 265 668